基本操作を覚えたらインターネットの扉を開こう
まずはつないでみたい人も
まずは仕組みを知りたい人も
サクサクわかるインターネットへの近道をご案内

インターネット接続のための **チェックシート**

インターネットの世界に飛び込むには、プロバイダーというインターネット接続サービス会社と契約する必要があります。
プロバイダーと契約すると、インターネットへの接続に必要な「あなたの情報」が記載された資料が送られてきます。
「あなたの情報」をこのチェックシートに書き込んでおいてください。
あなたがインターネットの世界に飛び込むとき、また万一、資料をなくしてしまったときにきっと役に立ちます。

項　　目	あなたの情報	記　入　例
プロバイダー名		Sharp Space Town
①接続先の電話番号		00000000
②ユーザー名		za1234567
③パスワード		＊＊＊＊＊＊＊＊
④優先 DNS サーバー		210.130.136.17
⑤代替 DNS サーバー		210.130.136.18
⑥電子メールアドレス		taro@mXX.spacetown.ne.jp
⑦受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー		mXX.spacetown.ne.jp
⑧送信メール(SMTP)サーバー		mXX.spacetown.ne.jp
⑨アカウント名		taro
⑩パスワード		＊＊＊＊＊＊＊＊

「項目」に記載している用語は、プロバイダーによって異なります。「別の呼び方」を参考にして「あなたの情報」欄を正確に記入してください。

チェックシートに書き込んだ内容は、あなた自身の大切な情報です。
他の人に見られないように十分に注意して、厳重に保管してください。

① 接続先の電話番号

ダイヤルアップでインターネットに接続するときの電話番号です。
プロバイダーから送られてきた「アクセスポイント一覧」などの資料から最寄りの電話番号を選んでください。

② ユーザー名

プロバイダーに接続するときに使用する名前です。

別の呼び方 --

PPP ログイン名、接続ログイン名、ユーザー ID、ログイン ID、接続ID、認証ID、ネットワークID、アカウント名、ログオン名 など

③ パスワード

インターネ ットに接続するためのパスワードです。パスワードはクレジットカードの暗証番号のようなものなので、他の人に知られないようにしてください。

別の呼び方 --

PPPパスワード、ログインパスワード、接続パスワード、認証パスワード、ネットワークパスワード　など

④ 優先 DNS サーバー

プロバイダーのDNS サーバーのIP アドレスです。プロバイダーによって設定の必要がない場合があります。

別の呼び方 --

ネームサーバー1、プライマリネームサーバー、ドメインネームサーバー、プライマリDNS、DNS（プライマリ）、DNSアドレス（プライマリ）　など

⑤ 代替 DNS サーバー

「優先 DNS サーバー」以外に、別の DNS サーバーがある場合は記入します。DNSサーバーが1つしかない場合は、空欄のままにしておきます。プロバイダーによって設定の必要がない場合があります。

別の呼び方 --

ネームサーバー2、セカンダリネームサーバー、ドメインネームサーバー2、セカンダリDNS、DNS（セカンダリ）、DNSアドレス（セカンダリ）　など

⑥ 電子メールアドレス

電子メールをやり取りするときのあなたの宛先です。あなた宛のメールは、この電子メールアドレスに届けられます。

別の呼び方 --

メールアドレス、電子メールアドレス、基本メールアドレス、Mail アドレス、E-Mail アドレス　など

⑦ 受信メール（POP3）サーバー

あなたに届けられた電子メールを一時的に保管する場所です。

別の呼び方 --

メールサーバー、インターネットメールサーバー、ＰＯＰ サーバー、POP3、Mail サーバー名、メール受信サーバー　など

⑧ 送信メール（SMTP）サーバー

あなたが送った電子メールを一時的に保管する場所です。ここから相手に電子メールが送られます。「受信メールサーバー」と同じ場合もあります。

別の呼び方 --

メールサーバー、インターネットメールサーバー、SMTP サーバー、SMTP、Mail サーバー名、メール送信サーバー　など

⑨ アカウント名

受信メールサーバーにアクセスするための名前です。プロバイダーによって「② ユーザー名」と共通の場合があります。シャープスペースタウンの場合、電子メールアドレスが「taro@mXX.spacetown.ne.jp」だとすると、@より前の部分の「taro」がアカウント名となります。

別の呼び方 --

Mailアカウント名、メールアカウント名、POPアカウント名、POPサーバーアカウント、POPサーバー名、メールサーバーログイン名、メールログイン名、POP サーバーログイン名　など

⑩ パスワード

電子メールを使用するためのパスワードです。
プロバイダーによって「③ パスワード」と共通の場合があります。
パスワードはクレジットカードの暗証番号のようなものなので、他の人に知られないようにしてください。

別の呼び方 --

Mail パスワード、メールパスワード、基本メールパスワード、メールサーバーパスワード　など

もくじ

1章

インターネットってなんだろう

インターネットの準備をしよう

インターネットを始めよう

4章

電子メールを始めよう

設定しよう

本書について

この「入門ガイド　インターネット&メール」は、インターネットの概要やしくみ、あなたのメビウスでインターネットを始めるための設定方法などを説明しています。
さあ、あなたをインターネットの世界へご案内いたします。

本書の記載内容についてのご注意

- 本書に記載の手順やメッセージは、機種によって多少異なることがあります。
- 本書に記載の画面は、機種によって多少異なることがあります。
- 本書に使用しているホームページ画面例は、2004年8月現在のもので、実際にご覧になるものと異なることがあります。

ご使用前のおことわり

- お客様または第三者によるこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断わりします。

本書で使用している記号について

……………… 注意事項を記載しています。

……………… 知っておくと便利なことや参考にしていただきたいことを記載しています。

……………… 本書の参照ページを記載しています。

インターネットってなんだろう

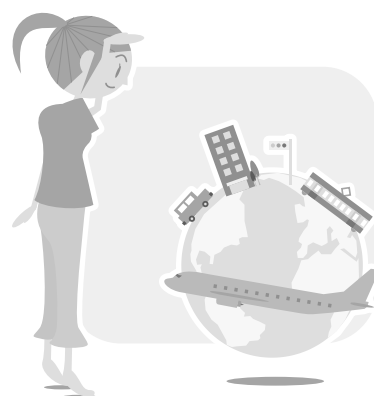
インターネットの概要やしくみについて
説明しています。

インターネットでできること

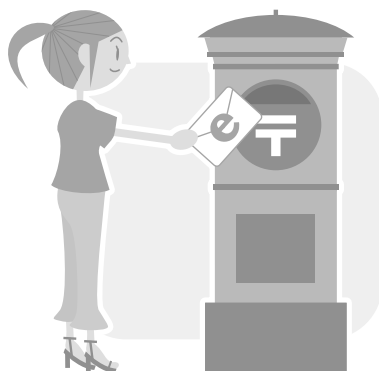
インターネットは、電話やテレビのように生活を便利に、快適にしてくれる情報メディアです。
ここでは、趣味や仕事など、さまざまな場面で活用できるインターネットの魅力を紹介します。

POINT 1

情報収集ができる

物事を調べたりすることはインターネットの得意分野です。電車の時刻表やニュースを見たり、欲しい商品の情報を探したりすることができます。

POINT 2

電子メールをやりとりできる

電子メールとはインターネットの手紙です。パソコンとパソコンはもちろん、インターネットに接続できる携帯電話とも電子メールのやりとりができます。

POINT 3

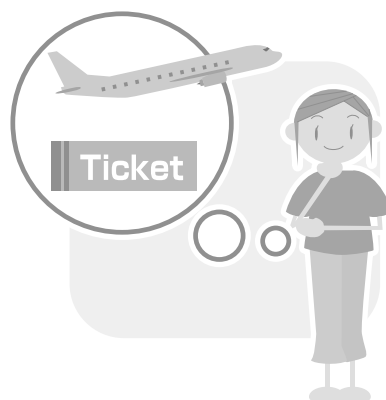
文字の会話ができる

インターネットに接続している人同士で、文字のおしゃべり（チャット）をしたり、インターネット掲示板（BBS）を利用して遠くに離れた人とのコミュニケーションを楽しむことができます。

ショッピングができる

実際にお店を見てまわるようにインターネット上のお店を見てまわることができます。その中で気に入った物があれば商品を購入することもできます。

予約ができる

旅行に行く場合などに、飛行機のチケットや、宿泊先の空室情報を確認し予約をすることができます。

上記の説明は、インターネットでできることの一例です。その他、自分のホームページを公開したり、映像や音楽を楽しむなどいろいろなことができます。

インターネットのしくみ

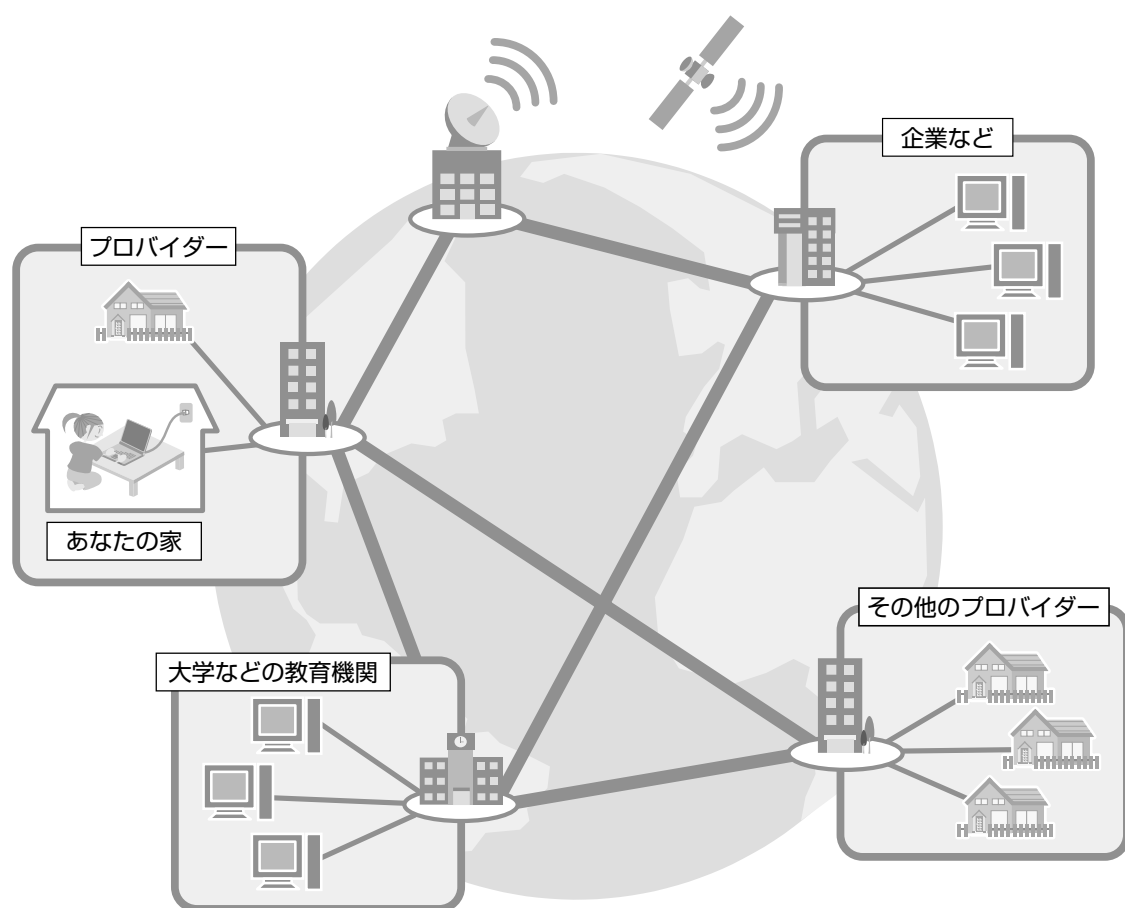
インターネットとは、世界各国のコンピュータを接続したコンピュータネットワークのことです。

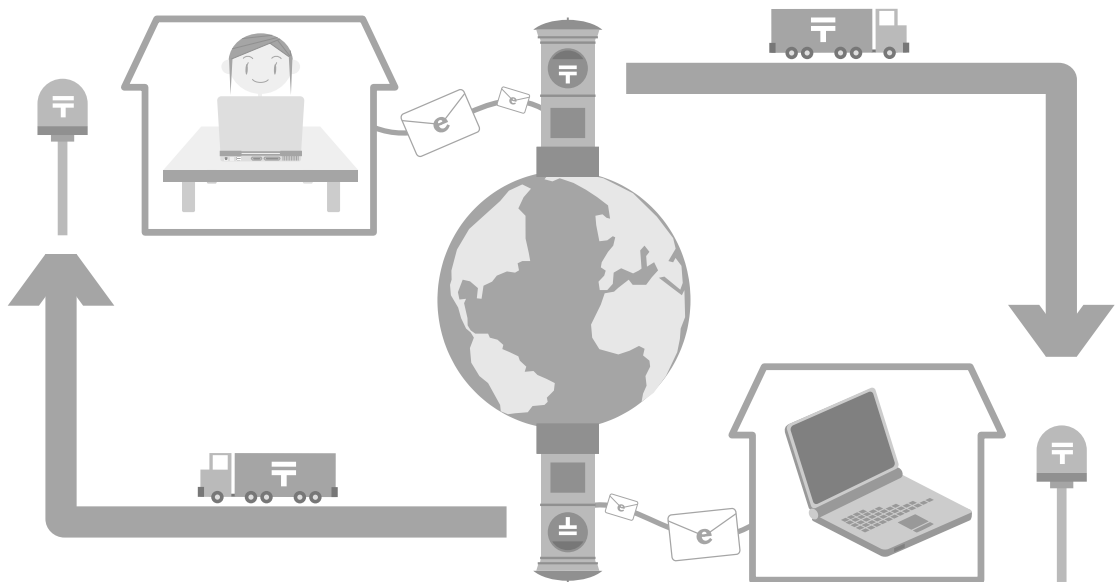
企業など

プロバイダー

あなたの家

その他のプロバイダー

大学などの教育機関

電子メールって何？

電子メールとは、インターネットにつながったパソコンや携帯電話などでやりとりする手紙のことで、「E-mail（イーメール）」ともいいます。
プロバイダーに入会すると、それぞれ個別の住所（メールアドレス）を持てますので、実際の郵便のように特定の宛先にメッセージを送ることができます。
また、文字メッセージだけでなく、写真なども送ることもできます。

インターネットに接続するまでの流れ

ここでは、これからインターネットをはじめる方のために、インターネットに接続するまでの基本的な流れを説明します。

インターネットに接続する方法を決めよう ☞14ページ

インターネットに接続するには、複数の接続方法があります。
あなたに合う接続方法を選んでください。

STEP 2

プロバイダーを決めよう ☞17ページ

インターネットを利用するにはプロバイダーに入会する必要があります。あなたが選んだインターネットの接続方法に対応しているプロバイダーから選んでください。

※ プロバイダーとは「インターネットサービスプロバイダー（ISP）の略でインターネットへの接続サービスを提供する業者のことです。

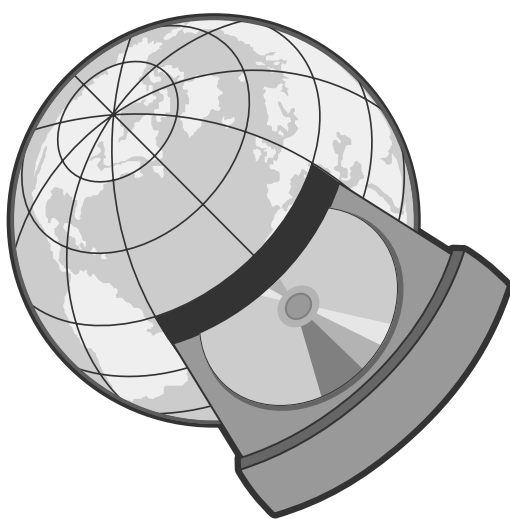
STEP 3

プロバイダーに入会し、周辺機器の設置、パソコンの設定をする

インターネットの接続方法やプロバイダーによって、周辺機器やパソコンの設定方法は異なります。
NTTやプロバイダーから送られてくる説明書を参照してください。

インターネットの
開通

- インターネット ☞29ページ
- 電子メール ☞47ページ

2章

インターネットの準備をしよう

インターネットに接続するために、どのような準備をすればよいかを説明しています。

インターネットに接続する方法を決めよう

インターネットに接続するには大きく分けて、ブロードバンド接続とダイヤルアップ接続があります。インターネットの利用目的などを考えながら、自分に合った接続方法を選択してください。

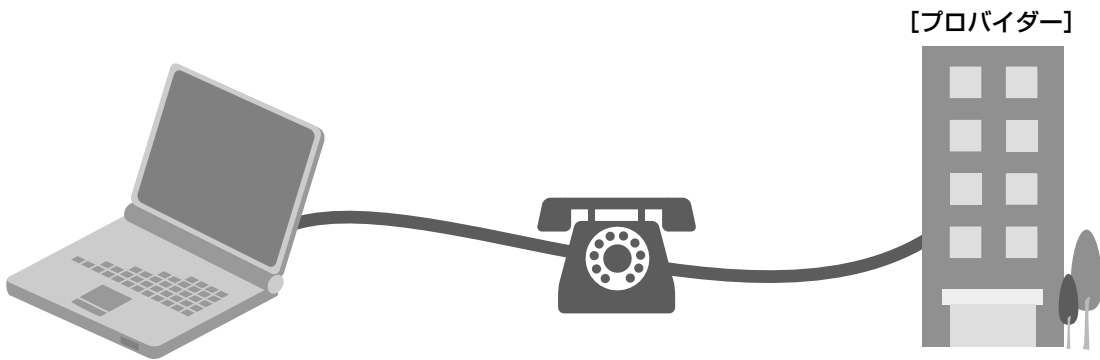
ブロードバンド接続

ブロードバンド接続とは、高速インターネット接続とも呼ばれ、ダイヤルアップ接続と比べて通信速度の速い回線を使用してインターネットに接続する方法です。また、常時接続とも呼ばれ、文字どおりインターネットに常に接続されている状態になっています。
料金についても、ダイヤルアップ接続のように通話料金はかからず定額料金なので、時間を気にすることなく利用することができます。

常時接続
定額料金
高速通信

ブロードバンド接続には、主に「ADSL」、「CATV（ケーブルテレビ）」、「FTTH（光ファイバー）」があります。

ダイヤルアップ接続（モデム内蔵モデルのみ）

ダイヤルアップ接続とは、インターネットを利用するときだけ、パソコンからプロバイダーの電話番号（アクセスポイント）に電話をかけて接続する方法です。

ダイヤルアップ接続には、主に「一般電話回線」、「ISDN」があります。

接続方法の比較

下の表は、それぞれの接続方法を比較したものです。接続方法によって通信速度が異なり、周辺機器や回線切替工事が必要な場合があります。
各接続方法の詳細については、「詳細説明」欄のページを参照してください。

	接続方法	通信速度	周辺機器	工事	詳細説明
ブロードバンド接続	ADSL		必要	NTT局内の切替工事が必要です	☞19ページ
ブロードバンド接続	CATV (ケーブルテレビ)		必要	必要	☞21ページ
ブロードバンド接続	FTTH (光ファイバー)		必要	必要	☞23ページ
ダイアルアップ接続	一般電話回線		不要※	不要	☞25ページ
ダイアルアップ接続	ISDN		必要	NTT局内の切替工事が必要です	☞27ページ

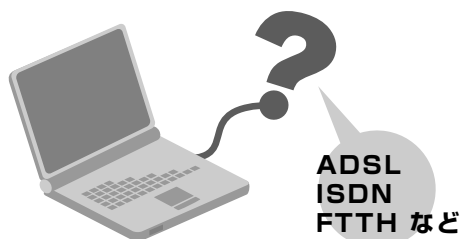
※モデム内蔵モデルの場合です。モデムを内蔵していないモデルの場合、別途モデムカードなどが必要になります。

接続方法を選ぶときに注意すること

接続方法によって初期費用や利用料金、利用できる地域などが異なります。各プロバイダーにお問い合わせの上、十分に確認、検討してください。

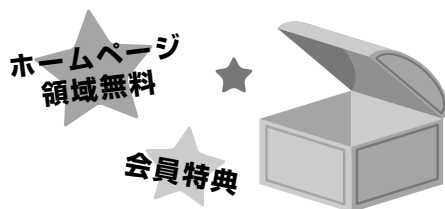
プロバイダーを決めよう

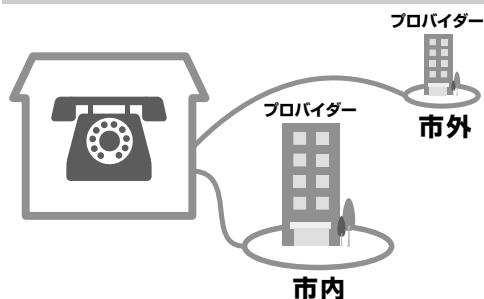
インターネットに接続するには、プロバイダーに入会する必要があります。プロバイダーによって対応しているサービス内容はさまざまです。

接続方法

プロバイダーが接続方法に対応しているか確認します。

料金体系

プロバイダーによって料金が異なります。

サービス

会員限定のホームページや映像配信のサービスなどの特典があります。

アクセスポイント

ダイヤルアップ接続の場合は、アクセスポイントが遠くなるほど通話料が高くなります。

プロバイダーの入会方法

パソコンショップなどで配布されている各プロバイダーの入会申込書で入会手続きができます。入会申込 CD-ROM を配布し、インターネットを利用して入会手続きができる「オンラインサインアップ」に対応したプロバイダーもあります。

BB スペースタウンに入会する

BB スペースタウンは、シャープが運営しているインターネット接続プロバイダー「Sharp Space Town」が提供するブロードバンド接続／モバイル定額接続専用のインターネット接続サービスです。詳しくは、**BB スペースタウンご入会の手引き**（別冊）を参照してください。

ユーザー登録と同時に正式入会を申し込む

1 デスクトップの［Mebius ユーザー登録はこちらから］をクリックします。

オンラインユーザー登録ソフトが起動し、「シャープユーザー登録」画面が表示されます。

2 「はじめにお読みください」（別冊）の「ユーザー登録をする」－「シャープへオンラインでユーザー登録する」を参照して、ユーザー登録と正式入会をします。

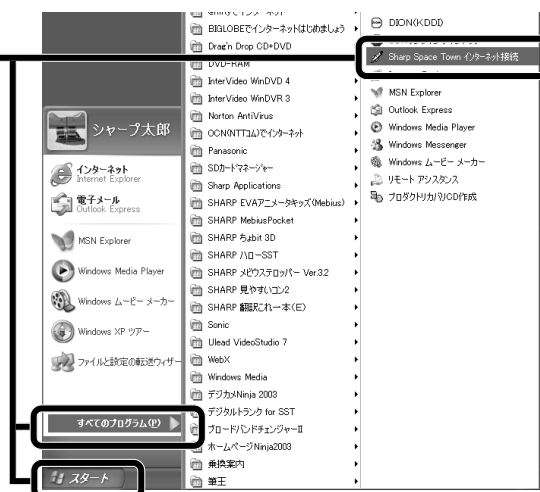
登録が完了すると、インターネット接続が自動的に設定され、デスクトップに（登録情報）が作成されます。

※アイコンの種類や位置などは、実際の画面と異なる場合があります。

ユーザー登録後、正式入会を申し込む

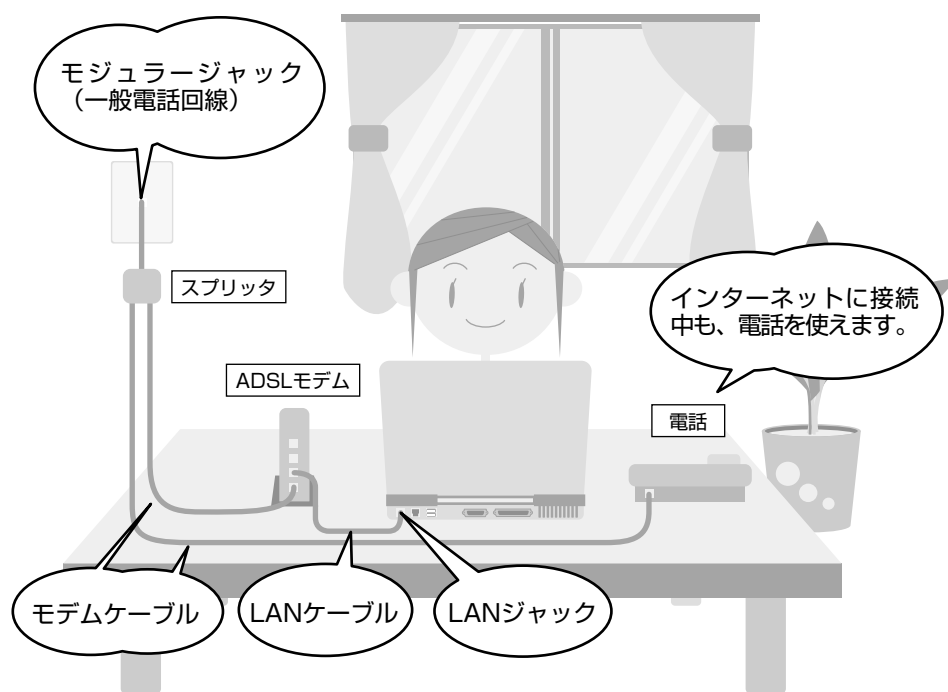
1 ［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「Sharp Space Town インターネット接続」をクリックします。

2 画面の指示に従って進んでください。

登録が完了すると、インターネット接続が自動的に設定され、デスクトップに（登録情報）が作成されます。

※画面は一例です。お使いの機種によって「Sharp Space Town インターネット接続」の表示される位置は異なります。

ブロードバンドで インターネットに接続しよう

ADSL

ADSLは、一般電話回線の通話に使用しない高い周波数の帯域を利用して、インターネットに接続します。一般電話回線をそのまま利用できるため、ブロードバンド接続の中で利用者数が増えています。

- ADSL を利用する場合は、ADSL モデムとスプリッタが必要です。詳しくは、プロバイダーにお問い合わせください。
- インターネットに接続するには、パソコンの設定が必要です。機器の接続手順やパソコンの設定方法は、ADSLモデムの説明書、NTTやプロバイダーから送られてくる説明書を参照してください。
- パソコンの LAN ジャックについては、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。

機器の接続やインターネット接続の設定をするときは

CD-ROMやフロッピーディクスから、ソフトウェア（ドライバーなど）のインストールが必要な場合があります。CD-ROMドライブやフロッピーディスクドライブを内蔵していないモデルをお使いの場合は、あらかじめ、これらの機器も接続しておいてください。接続方法については、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。

ADSL 導入までの流れ

ここでは、ADSL を導入するまでの流れを紹介します。

プロバイダーに入会する

ADSL に対応しているプロバイダーに入会してください。

ADSL が利用可能か確認する

プロバイダーが回線の調査をします。詳しくはプロバイダーにお問い合わせください。

ADSL への切り替え工事をする

NTT東日本、またはNTT西日本の局内工事のみで自宅での工事は不要です。詳しくはプロバイダーにお問い合わせください。

ADSL モデム、スプリッタを設置し、パソコンの設定をする

ADSL モデムは、Windows XP に対応していることを確認してください。詳しくはプロバイダーにお問い合わせください。

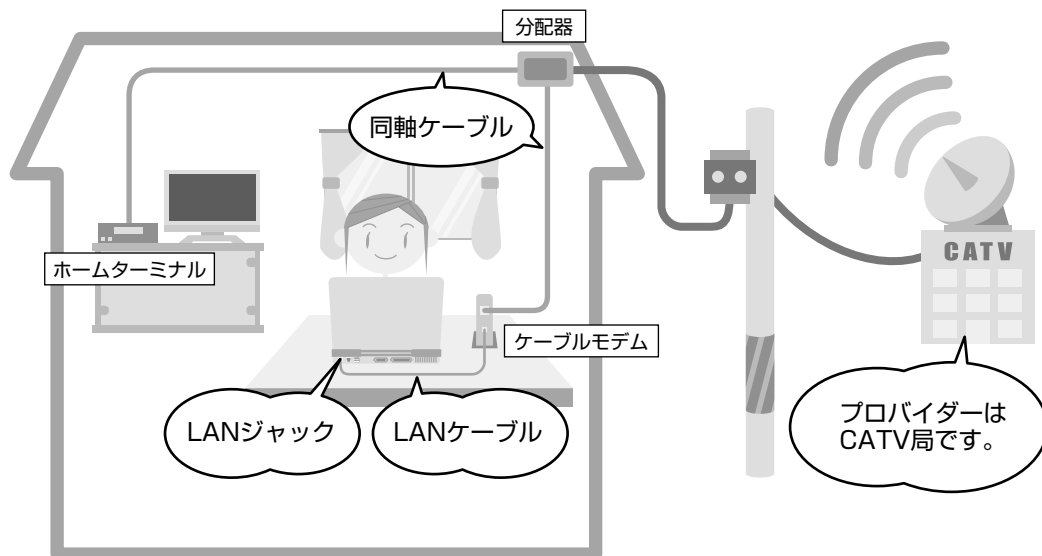
開通 「3 章 インターネットを始めよう」(☞29 ページ) へ進んでください。

ADSL を導入する場合に注意すること

- 電話局から自宅までの電話線の一部が光ファイバーになっている場合は、ADSL を利用できないことがあります。
- 電話回線を ISDN にしていると ADSL は利用できません。電話回線を一般電話回線に戻す必要があります。もし ISDN を使い続けたい場合は、NTT 東日本、または NTT 西日本にお問い合わせください。

CATV（ケーブルテレビ）

CATVは、ケーブルテレビの専用回線を利用してインターネットに接続します。
マンションによっては、すでにCATVのケーブルが引き込まれていることがあります。管理組合や家主にご確認ください。

※ケーブルテレビとインターネットを併用して利用する場合

- CATVを利用する場合は、ケーブルモデムが必要です。ケーブルテレビを利用する場合は、パソコン用のデータ信号とテレビ用の映像信号を分ける分配器も必要です。CATV局によって規格が異なりますので、詳しくは、CATV局にお問い合わせください。
- インターネットだけでもCATVを利用することができます。
  詳しくは、CATV局にお問い合わせください。
- インターネットに接続するには、パソコンの設定が必要です。機器の接続手順やパソコンの設定方法は、ケーブルモデムに付属の説明書、CATV局から送られてくる説明書を参照してください。
- パソコンのLANジャックについては、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。

機器の接続やインターネット接続の設定をするときは

CD-ROMやフロッピーディクスから、ソフトウェア（ドライバーなど）のインストールが必要な場合があります。CD-ROMドライブやフロッピーディスクドライブを内蔵していないモデルをお使いの場合は、あらかじめ、これらの機器も接続しておいてください。接続方法については、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。

CATV（ケーブルテレビ）導入までの流れ

ここでは、CATV を導入するまでの流れを紹介します。

インターネット接続サービスを CATV 局に申し込む

お住まいの地域のCATV局がインターネット接続に対応しているか確認してください。

CATV のケーブル引き込み工事をする

すでにケーブルテレビを利用していると工事が不要な場合もあります。詳しくはCATV局にお問い合わせください。

ケーブルモデムを設置し、パソコンの設定をする

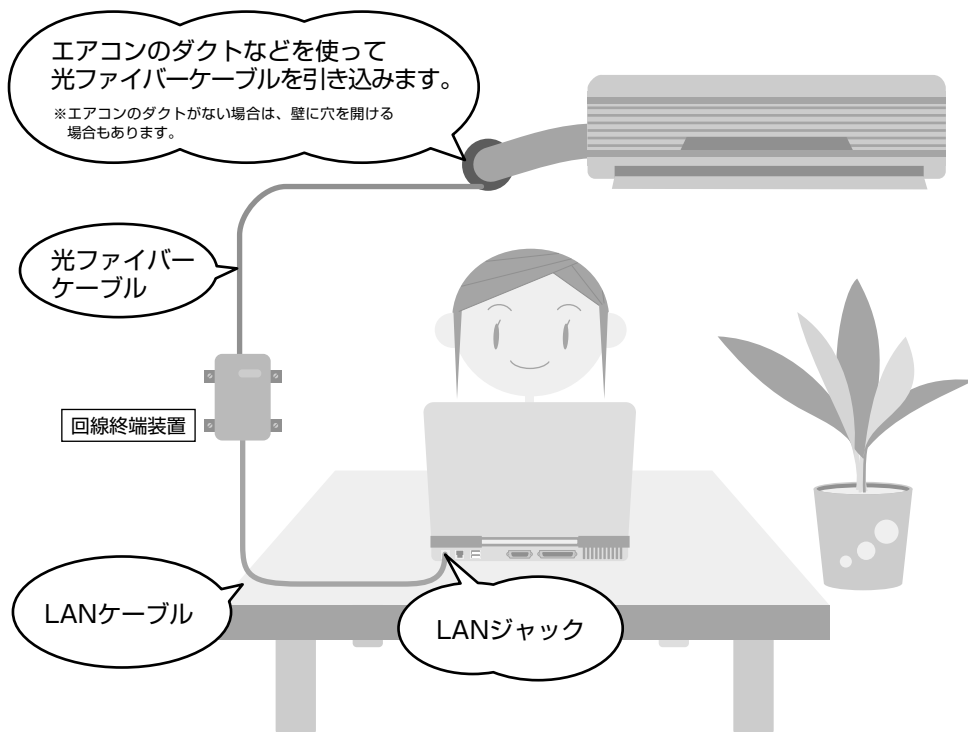
ケーブルモデムは Windows XP に対応していることを確認してください。詳しくは CATV 局にお問い合わせください。

「3 章 インターネットを始めよう」（☞29 ページ）へ進んでください。

CATV を導入する場合に注意すること

ケーブルを屋内に引き込む工事が必要なので、集合住宅にお住まいの場合は、管理組合や家主の合意が必要です。

FTTH（光ファイバー）

FTTH は、光ファイバーケーブルを各家庭に引き込んでインターネットに接続します。
マンションによっては、すでにFTTHのケーブルが引き込まれていることがあります。管理組合や家主にご確認ください。

- FTTHを利用する場合は、回線終端装置（ONU）が必要です。利用するプロバイダーから指定されているものを購入、またはレンタルします。詳しくは、プロバイダーにお問い合わせください。
- インターネットに接続するには、パソコンの設定が必要です。機器の接続手順やパソコンの設定方法は、回線終端装置（ONU）の説明書、NTTやプロバイダーから送られてくる説明書を参照してください。
- パソコンの LAN ジャックについては、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。

機器の接続やインターネット接続の設定をするときは

CD-ROMやフロッピーディクスから、ソフトウェア（ドライバーなど）のインストールが必要な場合があります。CD-ROMドライブやフロッピーディスクドライブを内蔵していないモデルをお使いの場合は、あらかじめ、これらの機器も接続しておいてください。接続方法については、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。

FTTH（光ファイバー）導入までの流れ

ここでは、FTTH を導入するまでの流れを紹介します。

プロバイダーに入会する

FTTH に対応しているプロバイダーに入会してください。

光ファイバーのケーブル引き込み工事をする

回線終端装置を設置し、パソコンの設定をする

回線終端装置は Windows XP に対応していることを確認してください。

開通

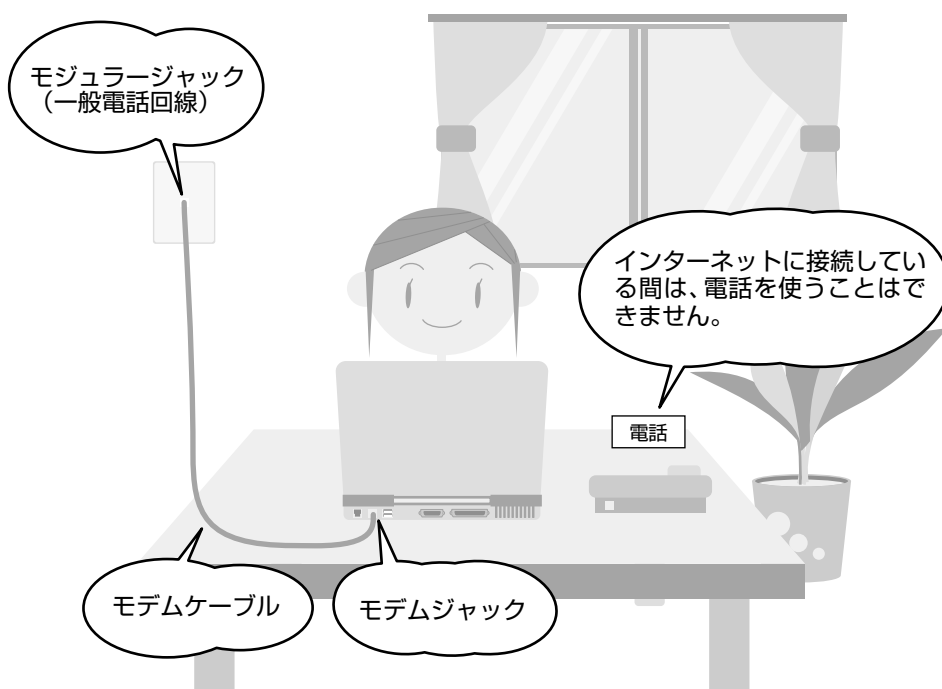
「3 章 インターネットを始めよう」（☞29 ページ）へ進んでください。

FTTH を導入する場合に注意すること

ケーブルを屋内に引き込む工事が必要なので、集合住宅にお住まいの場合は、管理組合や家主の合意が必要です。

ダイアルアップでインターネットに接続しよう

一般電話回線（モデム内蔵モデルのみ）

一般電話回線は、モジュラータイプの一般電話回線（アナログ回線）でインターネットに接続します。パソコンの他に用意する機器や工事は必要ありませんが、インターネットに接続中は電話を利用することができません。

- パソコンを一般電話回線に接続するには、付属または市販のモデムケーブルを使って、パソコンのモデムジャックと電話回線のモジュラージャックを接続します。
  詳しくは、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。
  お使いのパソコンによっては、モデムケーブルは付属されていません。付属されていない場合は、市販のモデムケーブル（電話線）をお買い求めください。
- インターネットに接続するには、パソコンの設定が必要です。パソコンの設定方法は、プロバイダーが配布しているCD-ROMやプロバイダーから送られてくる説明書を参照してください。

機器の接続やインターネット接続の設定をするときは

CD-ROMやフロッピーディスクから、ソフトウェア（ドライバーなど）のインストールが必要な場合があります。CD-ROMドライブやフロッピーディスクドライブを内蔵していないモデルをお使いの場合は、あらかじめ、これらの機器も接続しておいてください。接続方法については、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。

インターネット接続までの流れ

ここでは、一般電話回線を使ってオンラインサインアップでインターネットに接続するまでの流れを紹介します。

パソコンと電話回線を接続する

付属または市販のモデムケーブルを使ってパソコンのモデムと電話回線のモジュラージャックを接続します。詳しくは、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。

オンラインサインアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする

パソコンショップなどでプロバイダーが配布しているオンラインサインアップ用 CD-ROM を使用します。

画面の指示に従って入会する

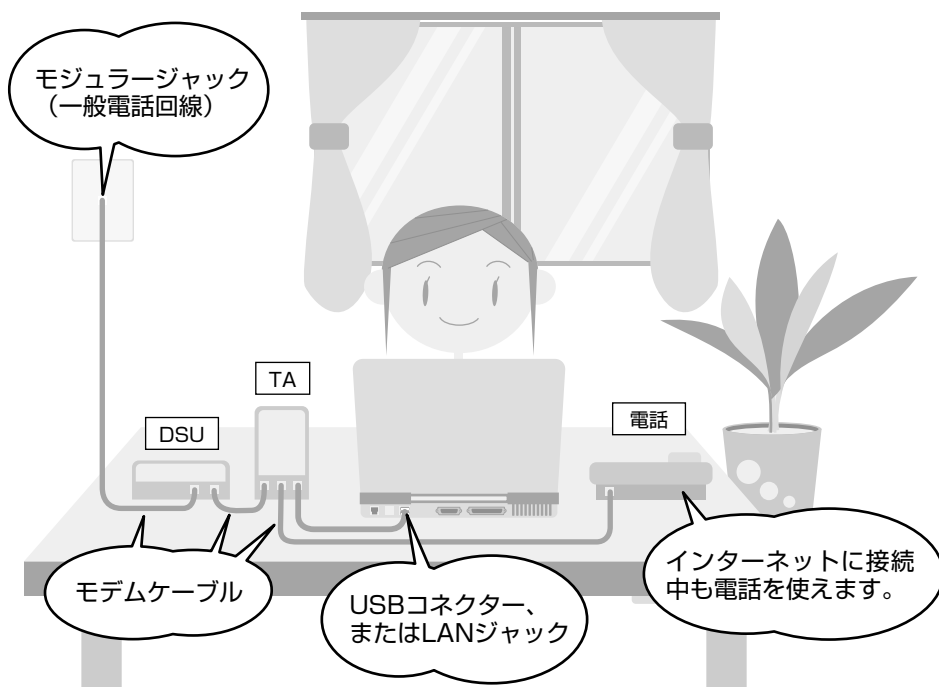
クレジットカードの情報の入力が必要な場合があります。詳しくはプロバイダーにお問い合わせください。

パソコンの設定について

入会手続が完了すると、パソコンのインターネット接続の設定を行う必要はありません。
手動で設定する場合は、**インターネット接続を設定しよう**（☞68ページ）を参照してください。

「3 章 インターネットを始めよう」（☞29 ページ）へ進んでください。

ISDN

ISDNは、一般電話回線(アナログ回線)よりもノイズなどの影響を受けにくいデジタル信号でインターネットに接続します。インターネットに接続中でも電話を利用することができます。

- ISDNを利用する場合は、TA（ターミナルアダプタ）が必要です。DSUが内蔵されていないTAを利用する場合は、別途DSUが必要です。詳しくは、NTT東日本、またはNTT西日本にお問い合わせください。
- インターネットに接続するには、パソコンの設定が必要です。機器の接続手順やパソコンの設定方法は、TA(ターミナルアダプタ)またはダイヤルアップルーターに付属の説明書、NTT東日本、またはNTT西日本やプロバイダーから送られてくる説明書を参照してください。
- パソコンのUSBコネクターやLANジャックについては、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。

機器の接続やインターネット接続の設定をするときは

CD-ROMやフロッピーディクスから、ソフトウェア（ドライバーなど）のインストールが必要な場合があります。CD-ROMドライブやフロッピーディスクドライブを内蔵していないモデルをお使いの場合は、あらかじめ、これらの機器も接続しておいてください。接続方法については、**取扱説明書**（別冊）を参照してください。

ISDN 導入までの流れ

ここでは、ISDN を導入するまでの流れを紹介します。

プロバイダーに入会する

ISDN に対応しているプロバイダーに入会してください。

ISDN の切り替え工事をする

NTT 東日本、または西日本の局内工事のみで自宅での工事は不要です。詳しくはプロバイダーにお問い合わせください。

TA（ターミナルアダプタ）と DSU を設置し、パソコンの設定をする

周辺機器は Windows XP に対応していることを確認してください。

開通

「3 章 インターネットを始めよう」（☞29 ページ）へ進んでください。

3章

インターネットを始めよう

Web ブラウザ『Internet Explorer（インターネット エクスプローラー）』を使って、ホームページの見かたを説明しています。

インターネットを始める前に

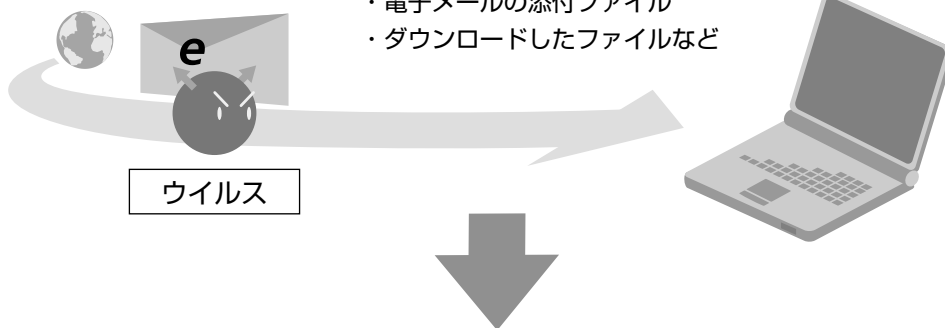
インターネットは、世界中のいろんな情報を収集したり、予約や買い物、メールのやりとりなど、とても便利ですが、コンピュータウイルスの感染や不正アクセスによる被害も増えてきました。
ここでは、インターネットを利用するときの注意や安全対策について説明します。

コンピュータウイルスに注意しよう

コンピュータウイルス（以下ウイルスと表記します）とは、意図的に作成された悪質なプログラムです。ウイルスに感染すると、パソコン内のファイルやデータを壊したり、パソコンの動きを止めてしまったり、いろいろなトラブルを引き起こす危険性があります。

■ ウイルスの感染経路と感染を防ぐには

ウイルス感染経路

・電子メールの添付ファイル
・ダウンロードしたファイルなど

ウイルス

ウイルス予防対策

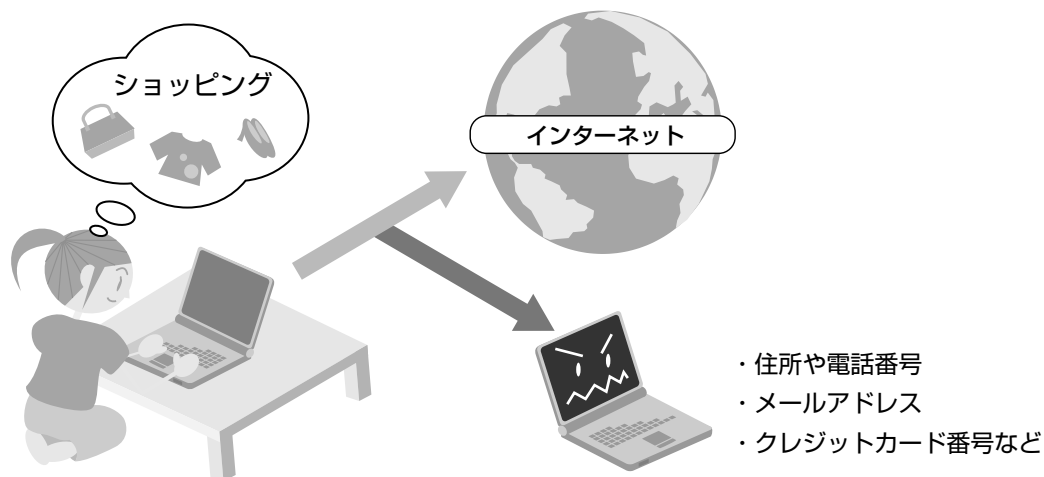
・知らない人から送られてきた添付付きの電子メールは開かない！
・不自然な名前の添付ファイルは開かない！
・信頼できないホームページからファイルをダウンロードしない！
・ウイルス対策ソフトウェアを使用しよう！
　詳しくは、メビウス活用ガイド（別冊）を参照してください。

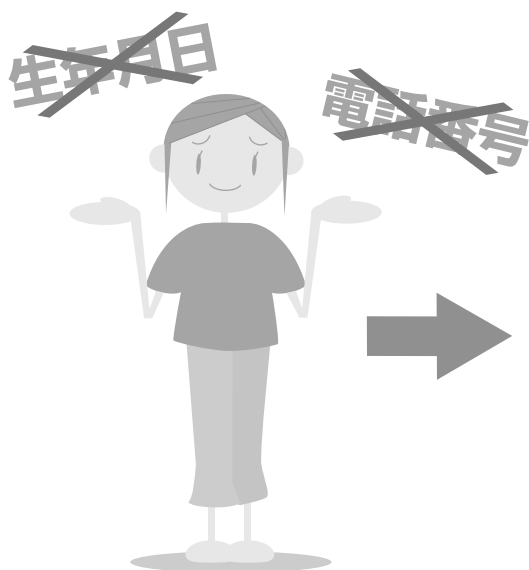
■ ウイルスに感染してしまったときは

ウイルス対策ソフトウェアを使って一刻も早くウイルスを駆除する必要があります。詳しくは、**メビウス活用ガイド**（別冊）を参照してください。

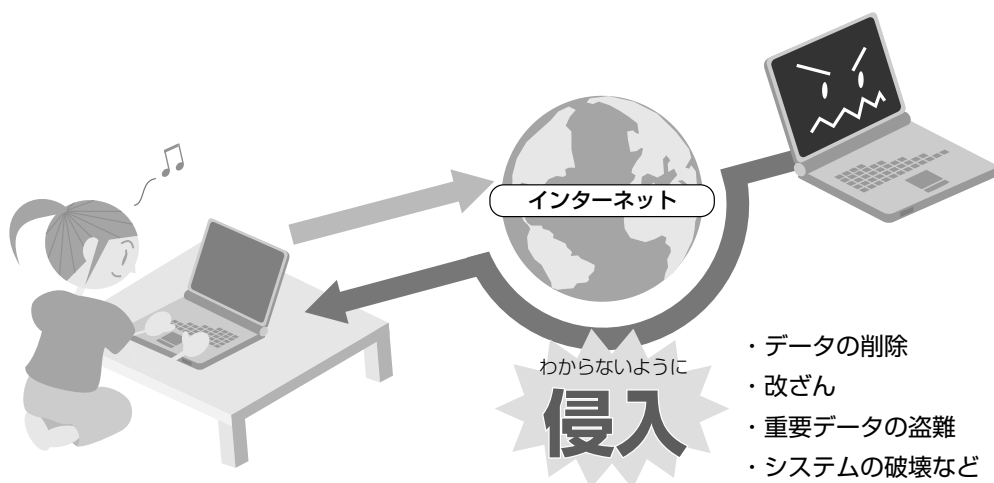
個人情報の流出に注意しよう

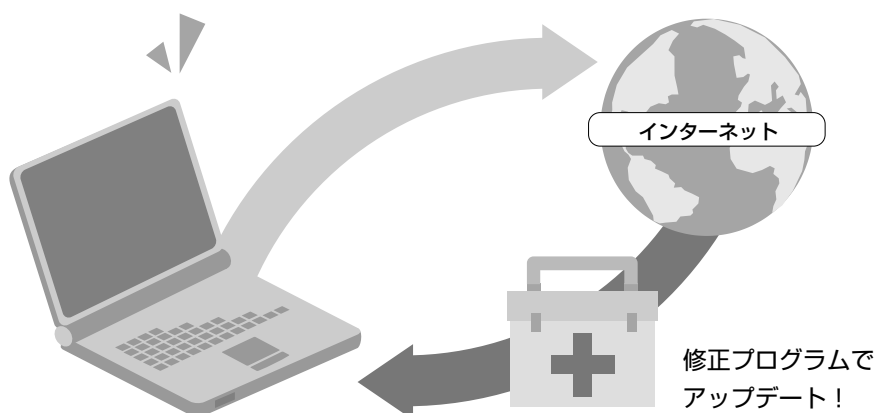
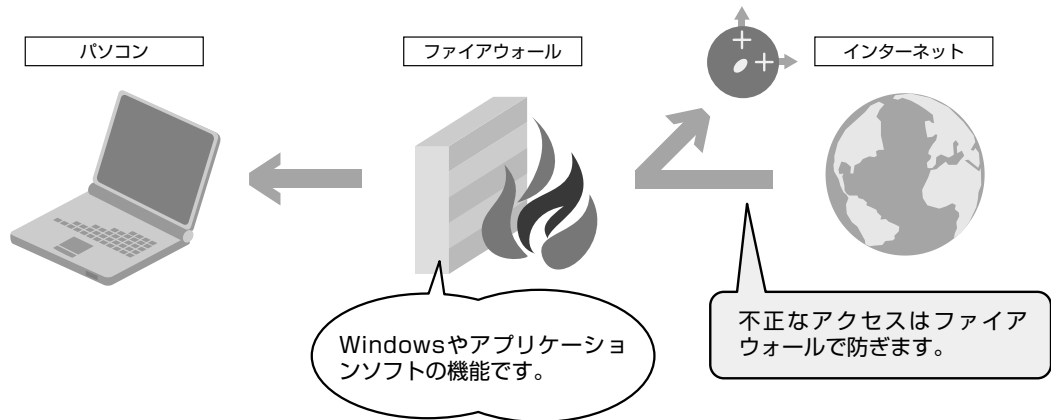
インターネットでやりとりする情報は、たくさんのコンピュータを経由するため、途中で内容を読まれる可能性があります。

・住所や電話番号
・メールアドレス
・クレジットカード番号など

■ 個人情報の流出を防ぐには

- 信頼できない相手には、電子メールやホームページの入力画面で、メールアドレスやクレジットカード番号、住所や電話番号などを送信しないようにしましょう。
- 誕生日や電話番号などの分かりやすいパスワードは、できるだけ使わないようにしましょう。
- 文字・数字・記号を組み合わせて、7 文字以上など文字数の多いパスワードにしましょう。
- パスワードは定期的に変更しましょう。
  パスワードを定期的に変更することでパスワードが見破られる可能性を減らすことができます。

・軽はずみにあなたの情報を教えない
・英数字を組み合わせた7文字以上など文字数の多いパスワードにする

不正アクセスに注意しよう

不正アクセスとは、パソコンを利用する権限をもっていない人が、パソコンに侵入することです。不正アクセスされたパソコンは、ファイルを見られるだけでなく、データの削除、改ざん、パスワードなどの重要データの盗難、システムの破壊などの被害を受ける可能性があります。

■ 不正アクセスを防ぐには

- パソコンを使わないときは、パソコンの電源を切ることをお勧めします。
- Windows やアプリケーションのアップデートをお勧めします。
  不正アクセスしようとする人は、Windows、Webブラウザやメールソフトのセキュリティホール（セキュリティ上の弱点）から侵入します。
  ソフトメーカーはセキュリティホールが見つかると、対応した修正プログラムなどを提供します。セキュリティホールや修正プログラムの情報はソフトメーカーのホームページで紹介されていますので、必要な場合は修正プログラムを使ってアップデートしてください。
  また、Windows の自動更新が有効の場合、「重要な更新」を自動的にダウンロードします。

- Windows のファイアウォールを使いましょう。
  Windowsのファイアウォール機能の設定が有効の場合、安全性を向上できます。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。
- 市販のアプリケーションソフトを導入しましょう。
  高度なファイアウォール機能を備えている市販のアプリケーションソフトも販売されています。

ファイアウォールとは防火壁という意味で、インターネットの出入口で外部からの不正アクセスを防いだり、情報が外部に漏れないように防ぐ役割をします。

ホームページを見てみよう

『Internet Explorer（インターネット エクスプローラー）』を使ってホームページを見てみましょう。

インターネットに接続する

ブロードバンドで接続する

ここでは、ADSL や CATV など、ブロードバンドで接続する場合を説明しています。

1 ［スタート］をクリックし、「インターネット」をクリックします。

Internet Explorerが起動し、ホームページ画面が表示されます。

ダイヤルアップで接続する

ここでは、一般電話回線や ISDN など、ダイヤルアップで接続する場合を説明しています。

1 ［スタート］をクリックし、「インターネット」をクリックします。

Internet Explorerが起動し、「ダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2 [接続] をクリックします。

インターネットへの接続が開始されます。「現在XXXX に接続しています」画面が表示されたときは、メッセージをよく読み、[閉じる]をクリックしてください。

Internet Explorerの画面に、ホームページ画面が表示されます。

「自動的に接続する」の □ をクリックして ☑ にした場合は、次回 Internet Explorer を起動すると、自動的に接続が開始されます。

複数のインターネット接続を設定している場合は

インターネット接続をするときに、「ダイヤルアップ接続」画面で接続先を選択することができます。

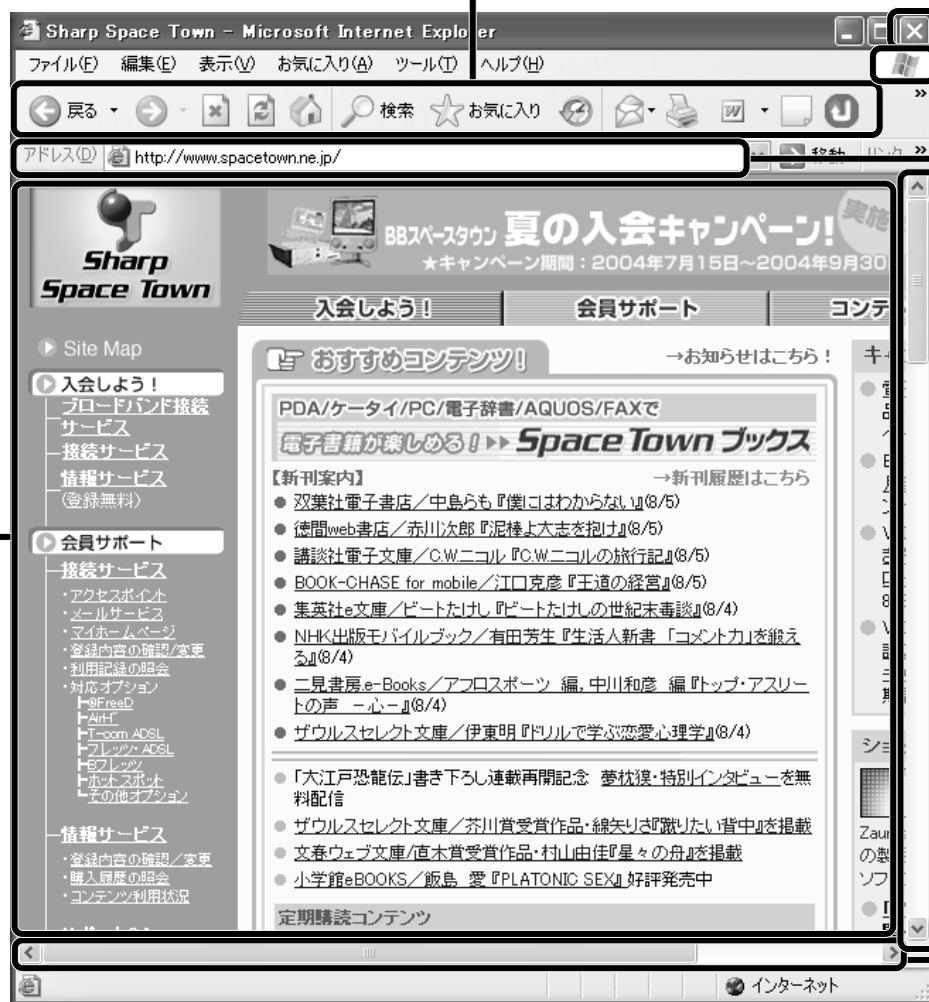
「接続先」欄をクリックし、接続先を選択してクリックします。

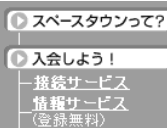
インターネットに接続している場合は

ダイヤルアップ接続（一般電話回線、ISDN など）でインターネットに接続すると、タスクバーに が表示されます。

ホームページ画面について

ここでは、Internet Explorer の基本画面を説明します。

最初に表示される画面は異なる場合があります。
下の画面は、「シャープスペースタウン」のホームページです。
※このページの画面は、内容の更新のため実際と異なる場合があります。

クリックでページ移動

画面の中の絵や文字など、いろいろなところで が に変わるところを探してみてください。 に変わったところをクリックすると、そのホームページへ移動することができます。

左記のようなイラストや、下線のある文字などがボタンになっています。

ショートカットボタン

よく使う機能がボタンになっています。詳細については右記の「ショートカットボタンの詳細」をご覧ください。

ウィンドウを閉じる

ホームページを閉じる時は、✕をクリックします。

動いている間は情報収集

ホームページを表示するための文字や画像を集めている間、このマークが動きます。ホームページに、すべての文字や画像が表示されると止まります。

ホームページアドレスを表示

見ているホームページのアドレス（URL）が表示されます。雑誌などで紹介されているホームページのアドレスを入力して ⏎ キーを押すと、入力したアドレスのホームページが表示されます。（☞次ページ）

スクロールで表示

このバーが表示されているときは、ホームページが上下または左右に続いていることを意味します。見えていない部分を見るには、∧ ∨ または ＜ ＞ をクリックしてください。また表示を大きくしたいときは、画面右上にある □ をクリックすると画面いっぱいに表示されます。

ウイルスにご注意！

ホームページからウイルスに感染する場合もあります。不用意にホームページからプログラムやデータをダウンロードしないでください。また、ダウンロードしたファイルは、必ずウイルスチェックをしてから開いてください。

ショートカットボタンの詳細

ひとつ前のページに戻ります。

戻る をクリックする前に表示していたページに進みます。

ホームページの表示を途中で中断します。

表示しているホームページを最新の内容に更新します。

最初に表示されたページ（スタートページ）に戻ります。（☞43ページ）

キーワードからホームページを検索します。

「お気に入り」の登録内容が一覧表示されます。（☞45ページ）

メディアバーが表示され、音楽や動画などのマルチメディアファイルを再生することができます。

これまで見たホームページのリストが日付順に表示されます。

クリックして表示されるメニューから、電子メールを読んだりメッセージを作成したりできます。表示しているホームページの情報を送信することもできます。

表示しているホームページの内容を印刷します。（プリンタの接続が必要です。**取扱説明書**（別冊）を参照してください。）

アドレス（http://・・・）を入力してホームページを見る

新聞や雑誌の広告などで「ホームページアドレスは http://・・・」と紹介されているのを目にする機会が多くなりました。
ここでは、ホームページのアドレスを直接入力してホームページを見てみましょう。

1 「アドレス」欄をクリックします。

「アドレス」欄に入力されている文字が反転表示され、アドレスを入力できる状態になります。

2 表示したいホームページのアドレス（URL）を入力します。

ここでは、「シャープ」のホームページのアドレス（http://www.sharp.co.jp/)を入力してみましょう。

※この画面は、「シャープ」のホームページ画面の例です。

3 [Enter] キーを押します。

「シャープ」のホームページが表示されます。

アドレスの入力方法

アドレス（URL）の入力では、大文字と小文字の区別があります。すべて半角英数字で入力し、コロン「:」、スラッシュ「/」、ピリオド「.」などが抜けないように注意しましょう。入力をまちがえたときは、 [Delete] キーや [BkSp]（または [Back Space]）キーで文字を消し、再度入力してください。

「 ~ 」（チルダ）と「 _ 」（アンダーバー）

「 ~ 」（チルダ）はホームページのアドレス（URL)で、「 _ 」（アンダーバー）は電子メールアドレスでよく使われる半角記号です。日本語入力になっている場合は、
[Alt] + [半角／全角]（漢字）で英字入力ができる状態に切り替えてください。

- 「 ~ 」（チルダ）　：[Shift] + [~ へ] を押します。
- 「 _ 」（アンダーバー）　：[Shift] + [\ ろ] を押します。

アドレスを入力中に文字が表示されたときは

アドレス（URL）の入力を始めると、入力中の文字の下にアルファベットなどの文字が表示されることがあります。これは、過去に入力したアドレス（URL）と一致するものが候補として表示されるからです。入力中のアドレスと同じものが表示されているときは、そのアドレス（URL）をクリックしても目的のホームページを表示させることができます。

キーワードを入力してホームページを見る

目当てのホームページの「アドレスがわからないとき」や、「こんな感じのホームページが見たい」という場合、キーワードからホームページを探すことができます。
ここでは、「シャープスペースタウン」のホームページにあるキーワード検索を使って、ホームページを探してみましょう。

1 「アドレス」欄をクリックします。

「アドレス」欄に入力されている文字が反転表示され、アドレスを入力できる状態になります。

2 「http://mebius.excite.co.jp/」を入力し、 キーを押します。

「Sharp Space Town for Mebius」のホームページが表示されます。

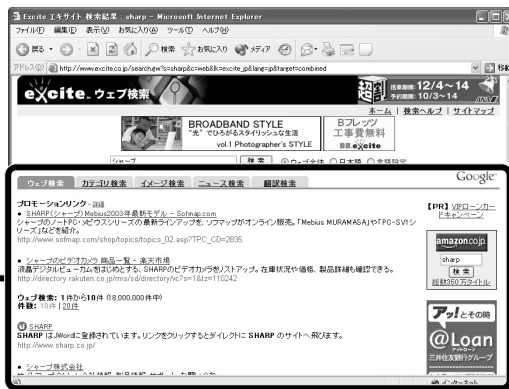
3 表示したいホームページのキーワードを入力します。

ここでは、「シャープ」を入力してみましょう。

4 [サーチ] をクリックします。

キーワードにあてはまるホームページの検索が開始され、検索したホームページのリストが表示されます。

5 見てみたいホームページのリストをクリックします。

マウスポインタ が に変わったところでクリックします。

※このページの画面は、内容の更新のため実際と異なる場合があります。

思ったように検索結果がでないときは

検索しても思ったように検索結果が出ないときは、複数の検索キーワードをスペースで区切って入力すると、検索情報が絞り込まれて、目的の情報が探しやすくなります。
ここでは、前ページの「シャープ」に「パソコン」というキーワードを追加して、「シャープのパソコン」情報を絞り込んで検索してみましょう。

1 キーワードのあとにスペースを入力し、続けて次のキーワードを入力します。

シャープ　パソコン　［検索］

ここでは、「シャープ」のあとにスペースを入力し、続けて「パソコン」と入力します。

2 ［検索］をクリックします。

シャープ　パソコン　［検索］

「シャープ」「パソコン」のキーワードにあてはまるホームページのリストが表示されます。

ホームページが文字化けしているときは

メニューバーの「表示」をクリックし、「エンコード」－「日本語（自動選択）」をクリックしてください。
表示文字コードの設定が変更されて文字化けが直ります。
ただし、表示しているホームページによっては、文字化けが直らないこともあります。

ホームページの文字が小さいので大きくしたいときは

メニューバーの「表示」をクリックし、「文字のサイズ」－「最大」（または「大」）をクリックしてください。
ホームページの文字が大きくなって見やすくなります。
ただし、ホームページを提供する側で、文字の大きさを指定している場合や、画像ファイル内の文字の大きさは変更できません。

Internet Explorerを終了する

ホームページを見終わったらInternet Explorerを終了します。
ダイヤルアップ接続の場合は、電話回線を切断してください。

ブロードバンドで接続している場合

ここでは、ADSLやCATVなど、ブロードバンドで接続している場合を説明しています。

1 画面右上の ✕ をクリックします。

Internet Explorerが終了します。

ダイヤルアップで接続している場合

ここでは、一般電話回線やISDNなど、ダイヤルアップで接続している場合を説明しています。

ダイヤルアップ接続でインターネットに接続している場合は

Internet Explorerを終了しても、電話回線を切断するまで料金がかかりますのでご注意ください。

1 タスクバー（画面右下）の接続アイコンをダブルクリックします。

ダイヤルアップ接続の状態が表示されます。

2 ［切断］をクリックします。

電話回線が切断され、タスクバーから が消えます。

3 画面右上の をクリックします。

Internet Explorer が終了します。

インターネットを活用しよう

Internet Explorer の便利な機能や、知っておくと役立つ情報を紹介します。

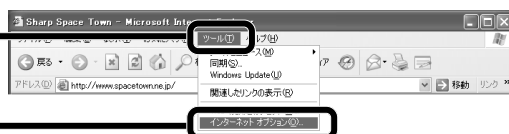
Internet Explorer 起動時に表示するページを設定する

Internet Explorer を起動したときに、最初に表示されるホームページ（スタートページ）は、自由に設定することができ、どのホームページを閲覧していても ボタンをクリックするだけで、設定したホームページに戻ります。
ここでは、例として「シャープスペースタウン」のホームページを設定してみましょう。

1 スタートページに設定するホームページを表示します。

ここでは、「シャープスペースタウン」のアドレス(http://www.spacetown.ne.jp/)を入力してみましょう。キーを押すと、「シャープスペースタウン」のホームページが表示されます。

2 メニューバーの「ツール」をクリックし、「インターネットオプション」をクリックします。

「インターネットオプション」画面が表示されます。

3 [現在のページを使用]をクリックします。

4 [OK] をクリックします。

スタートページに「シャープスペースタウン」のホームページが設定されます。

気に入ったホームページを登録する

気に入ったホームページは、以下の手順で「お気に入り」に登録することができます。「お気に入り」に登録すると、アドレス入力をしなくてもそのホームページを見ることができます。

「お気に入り」にホームページを登録する

ここでは、例として「シャープ」のホームページを「お気に入り」に登録してみましょう。

1 「お気に入り」に登録したいホームページを表示します。

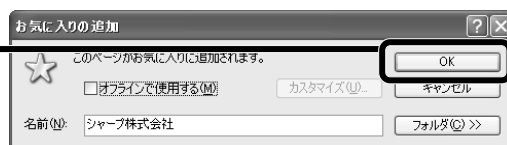
ここでは、「シャープ」のホームページのアドレス(http://www.sharp.co.jp/)を入力してみましょう。[Enter] キーを押すと、「シャープ」のホームページが表示されます。

2 メニューバーの「お気に入り」をクリックし、「お気に入りに追加」をクリックします。

「お気に入りの追加」画面が表示されます。

3 [OK] をクリックします。

表示しているホームページが「お気に入り」に登録されます。

「名前」欄にはそのホームページのタイトルが自動的に表示されます。あなたが自分でわかりやすい名前に変えることもできます。変える場合は、表示された名前をいったん削除してから、新しい名前を入力してください。

「お気に入り」に登録したホームページを見る

「お気に入り」に登録したホームページは、アドレスを入力しなくても表示させることができます。

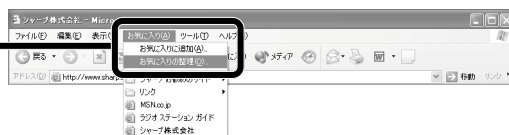
1 メニューバーの「お気に入り」をクリックし、表示したいホームページの名前をクリックします。

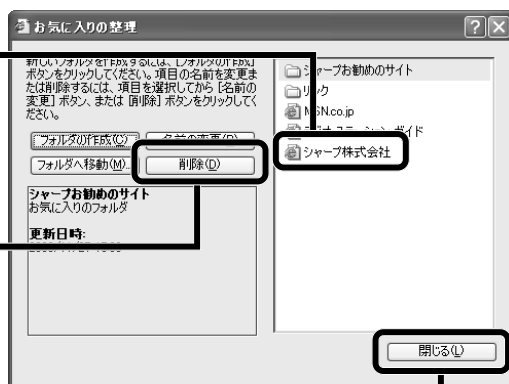
ここでは、「シャープ株式会社」をクリックします。
ホームページが表示されます。

いらなくなった「お気に入り」を削除する

ここでは、前ページで「お気に入り」に登録した「シャープ」のホームページを削除します。

1 メニューバーの「お気に入り」をクリックし、「お気に入りの整理」をクリックします。

「お気に入りの整理」画面が表示されます。

2 削除したいホームページをクリックします。

ここでは、「シャープ株式会社」をクリックします。

3 [削除] をクリックします。

「ファイルの削除の確認」画面が表示されます。

4 「ファイルの削除の確認」画面で [はい] をクリックします。

手順**2**で選んだ「シャープ株式会社」が削除されます。

5 [閉じる] をクリックします。

インターネットってなんだろう
インターネットの準備をしよう
インターネットを始めよう
電子メールを始めよう
設定しよう

4章

電子メールを始めよう

電子メールソフト『Outlook Express（アウトルック エクスプレス）』を使って、電子メールの受け渡しかたを説明しています。

電子メールソフトを起動しよう

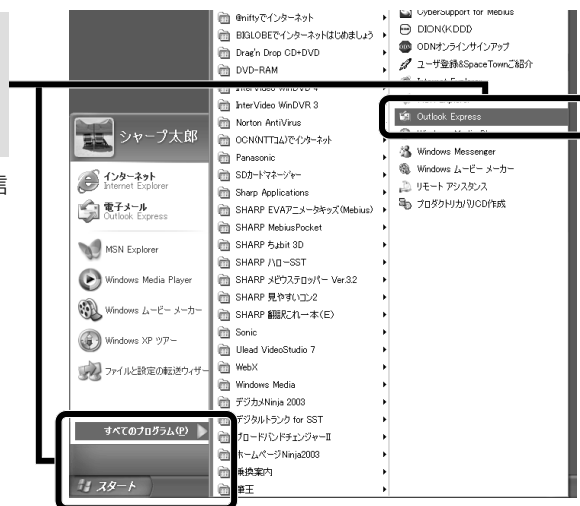
『Outlook Express（アウトルック エクスプレス）』を使って電子メールをやりとりしてみましょう。

Outlook Express を起動する

ブロードバンドで接続する

ここでは、ADSL や CATV など、ブロードバンドで接続する場合を説明しています。

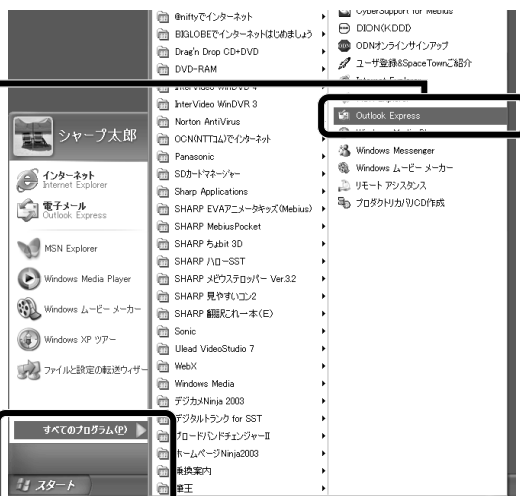
1 **[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」－「Outlook Express」をクリックします。**

Outlook Expressが起動し、「電子メール」の送受信が実行されます。

※画面は一例です。お使いの機種によって「Outlook Express」の表示される位置は異なります。

ダイヤルアップで接続する

ここでは、一般電話回線や ISDN など、ダイヤルアップで接続する場合を説明しています。

1 [スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」ー「Outlook Express」をクリックします。

Outlook Expressが起動し、「電子メール」の送受信が実行されます。

※画面は一例です。お使いの機種によって「Outlook Express」の表示される位置は異なります。

2 [オフライン作業] をクリックします。

すぐに「電子メール」の送受信を実行したいときは、[接続] をクリックしてください。

「自動的に接続する」の □ をクリックして ☑ にした場合は、次回 Outlook Express を起動すると、自動的に接続が開始されます。

確認画面が表示されたときは

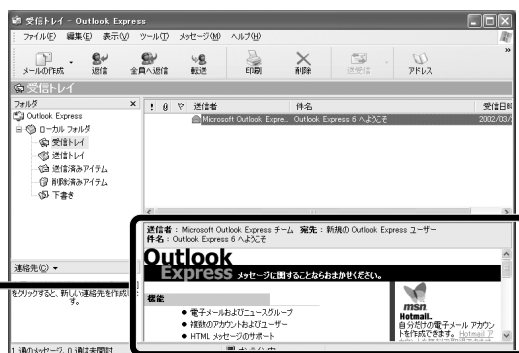
[はい] をクリックすると、「ダイヤルアップ接続」画面が表示されます。インターネットに接続する必要のないときは、[いいえ] をクリックします。

コンピュータウイルスの感染を防ぐには

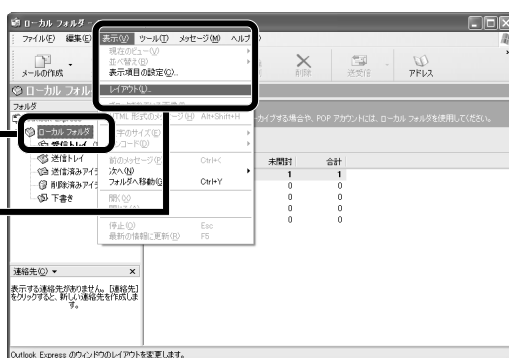
Outlook Expressには、選択した電子メールの内容を表示するプレビューウィンドウ機能があります。この機能を悪用して、届いた電子メールをプレビューウィンドウに表示するだけで感染するコンピュータウイルスがありますので、プレビューウィンドウを非表示に設定しておきましょう。

電子メールを始める前に

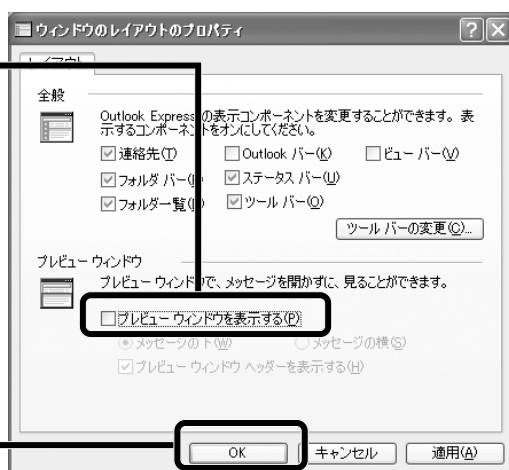
ウイルス対策ソフトウェアを使用することをお勧めします。詳しくは、**メビウス活用ガイド**（別冊）を参照してください。

プレビューウィンドウ

1 「ローカルフォルダ」をクリックします。

2 メニューバーの「表示」をクリックし、「レイアウト」をクリックします。

「ウィンドウのレイアウトのプロパティ」画面が表示されます。

3 「プレビューウィンドウを表示する」の ☑ をクリックして ☐ にします。

4 ［OK］をクリックします。

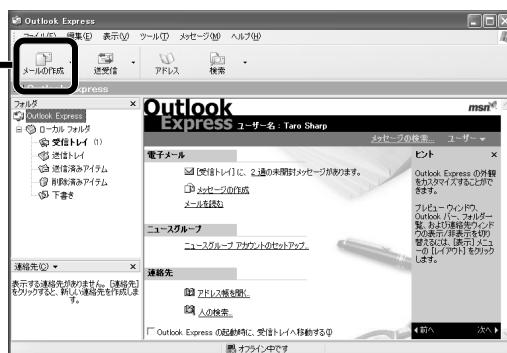
プレビューウィンドウが非表示に設定されます。

電子メールを送信しよう

電子メールを作成して送信するまでの手順について説明します。

電子メールアドレスと文章を入力して送信する

ここでは、自分宛にテストメールを出してみましょう。

1 [メールの作成] をクリックします。

「メッセージの作成」画面が表示されます。
この画面が電子メールとなり、手紙でいう便箋と封筒にあたります。

2 電子メールアドレスを半角英数字で入力します。

ここでは、自分の電子メールアドレスを入力します。

3 件名（タイトル）を入力します。

4 文章を入力します。

5 [送信] をクリックします。

電子メールが送信されます。

インターネットに接続していない場合は、「メールの送信」画面が表示されます。
画面のメッセージをよく読み、[OK]をクリックし、手順 **6** へ進んでください。

6 ［送受信］をクリックします。

電子メールの送受信が実行されます。

ダイヤルアップ接続の場合は、「ダイヤルアップ接続」画面が表示されます。［接続］をクリックし、電子メールの送受信を実行してください。
電子メールの送信が完了した後も電話回線は接続されたままです。
回線の切断方法については、**Internet Explorerを終了する**（☞41ページ）を参照してください。また電子メールの送受信が終了したら、自動的に回線を切断するように設定することもできます。（☞64ページ）

電子メールの形式について

Outlook Express では、HTML 形式とテキスト形式の 2 種類の電子メールを作成できます。

- HTML 形式　：文字の色や大きさを変えたり、本文の中に画像を貼り付けたりできます。
- テキスト形式　：文字のみで電子メールを作成します。文字の色や大きさを変えることもできません。

相手が HTML 形式の電子メールを受信できない場合があります。
また、携帯電話や、Outlook Express の HTML 形式に対応していない電子メールソフトを使っている場合は、テキスト形式で送らないと相手が電子メールを読むことができません。
Outlook Expressの初期設定では、HTML形式で電子メールを作成するように設定されています。テキスト形式で作成したいときは、**テキスト形式で電子メールを作成する**（☞65 ページ）を参照してください。

届いた電子メールを見よう

電子メールの受け取り方と読み方について説明します。

届いた電子メールを受け取る

1 ［送受信］をクリックします。

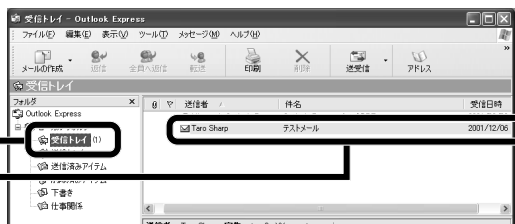
電子メールの送受信が実行されます。

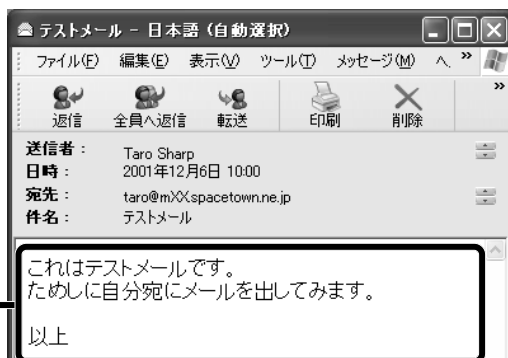
ダイヤルアップ接続の場合は、「ダイヤルアップ接続」画面が表示されます。［接続］をクリックし、電子メールの送受信を実行してください。
電子メールの受信が完了した後も電話回線は接続されたままです。
回線の切断方法については、Internet Explorerを終了する（☞41ページ）を参照してください。また、電子メールの送受信が終了したら、自動的に回線を切断するように設定することもできます。（☞64ページ）

届いた電子メールを読む

1 「受信トレイ」をクリックします。

2 届いた電子メールをダブルクリックします。

届いた電子メールが表示されます。

3 文章を読みます。

半角のカタカナや特殊記号（丸付き数字や罫線文字など）が受信メールに含まれていると、文字化けの原因になることがあります。もし含まれている場合は、電子メールの送信元の相手に、このような文字を使用しないように依頼してください。

電子メールを活用しよう

電子メールの便利な使い方や知っておくと役立つ情報を紹介します。

受け取った電子メールを利用して返信する

返事を書く相手から受け取った電子メールを利用すると、相手のメールアドレスが自動的に入力され、返信することができます。また、相手の文章が残るので、どの内容に対して返事を書いているか分かりやすくなります。

1 返事を書く相手の電子メールをクリックします。

2 ［返信］をクリックします。

返信用の電子メールが作成されます。
「宛先」欄には、相手の電子メールアドレスまたは名前が入力されています。

3 文章を入力します。

4 **「電子メールアドレスと文章を入力して送信する」**（☞51 ページ）の手順 5 ～ 6 の操作をします。

同じ電子メールを複数の人に送る

複数の相手に同じ電子メールを同時に送るには、次のような方法があります。

アドレスを「;」または「,」で区切る

「宛先」欄に、複数の電子メールアドレスを入力し、同じ内容の電子メールをまとめて送ることができます。受け取った相手も誰に同じ内容の電子メールが送られたのか知ることができます。

1 複数の電子メールアドレスを入力します。

アドレスとアドレスの間を半角の「;」または「,」で区切ってください。
「;」または「,」のあとにスペースなどは入れないでください。

CC を使って電子メールを送る

電子メールを送る相手の他にも同じ内容の電子メール（コピー）を送っておきたいときに利用します。「宛先」欄の相手はコピーが誰に送られたかを知ることができ、コピーを受け取った相手も、自分以外の宛先を知ることができます。

1 「宛先」欄には直接送りたい相手の電子メールアドレスを入力します。

2 「CC」欄にはコピーを送りたい相手の電子メールアドレスを入力します。

「CC」欄にも、「;」または「,」で区切って複数の電子メールアドレスを入れることができます。

BCC を使って電子メールを送る

「CC」欄を利用したときと同じように電子メールのコピーを送れますが、「BCC」欄を利用してコピーを送った相手が誰なのか、受け取った相手は知ることができません。
「BCC」欄を表示するには、メニューバーの「表示」をクリックし、「すべてのヘッダー」をクリックしてください。

アドレス帳を利用する

電子メールアドレスを登録すると、その相手に電子メールを送るときに、電子メールアドレスを入力しなくても、アドレス帳から「宛先」の入力ができます。

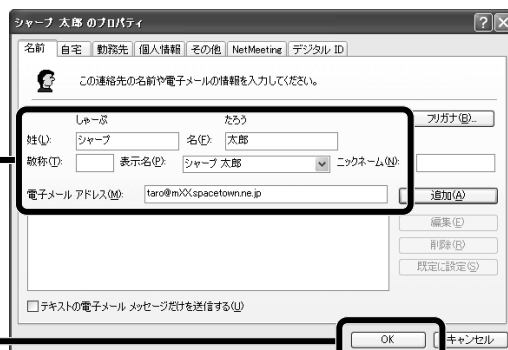
新しく電子メールアドレスを登録する

電子メールを送信する相手の名前や電子メールアドレスを登録しましょう。

1 「連絡先」をクリック し、「新しい連絡先」をクリックします。

新しい連絡先の登録画面が表示されます。

2 登録したい相手の「姓」、「名」、「電子メールアドレス」を入力します。

「姓」、「名」、「電子メールアドレス」は必ず入力してください。

3 必要に応じて他の項目も入力します。

4 [OK] をクリックします。

アドレス帳に登録した表示名が表示されます。

受け取った電子メールを利用して電子メールアドレスを登録する

登録しようとする相手から電子メールを受け取っている場合は、受け取った電子メールから電子メールアドレスを登録することができます。

1 「受信トレイ」をクリックします。

2 登録しようとする相手から受け取った電子メールをクリックします。

3 メニューバーの「ツール」をクリックし、「送信者をアドレス帳に追加する」をクリックします。

アドレス帳に登録した名前が表示されます。

アドレス帳に登録してある相手に電子メールを送る

アドレス帳に登録した相手に電子メールを送るときは、アドレス帳から「宛先」の入力ができます。

1 [メールの作成]をクリックします。

「メッセージの作成」画面が表示されます。

2 「宛先」をクリックします。

「受信者の選択」画面が表示されます。

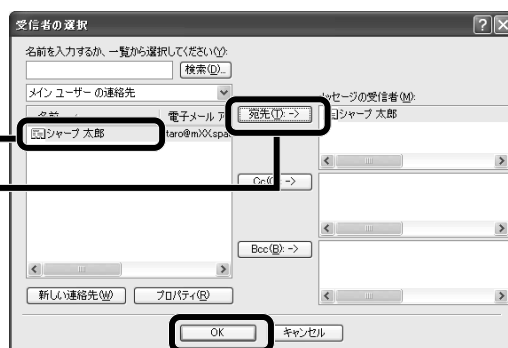
3 電子メールを送る相手をリストから選びます。

4 ［宛先］をクリックします。

手順 **3**、**4** を繰り返せば、一度に複数の宛先を入力することができます。

［CC］や［BCC］も同様の操作です。
詳しくは、**CC を使って電子メールを送る**（☞55ページ）を参照してください。

5 ［OK］をクリックします。

「宛先」欄に登録してある名前が表示されます。

電子メールを整理する

受信した電子メールはすべて「受信トレイ」に保管されるので、しばらく使っていると「受信トレイ」の中がいっぱいになり、見たい電子メールを探し出すのが大変になります。
分類用のフォルダを作成して整理しましょう。

分類用のフォルダを作る

届いた相手や電子メールの内容などで分類するフォルダを作成しましょう。

1 「ローカルフォルダ」をクリックします。

2 メニューバーの「ファイル」をクリックし、「フォルダ」－「新規作成」をクリックします。

「フォルダの作成」画面が表示されます。

3 「フォルダ名」に名前を入力します。

ここでは、「仕事関係」と入力してみましょう。

4 [OK] をクリックします。

作成した「仕事関係」フォルダが追加されます。

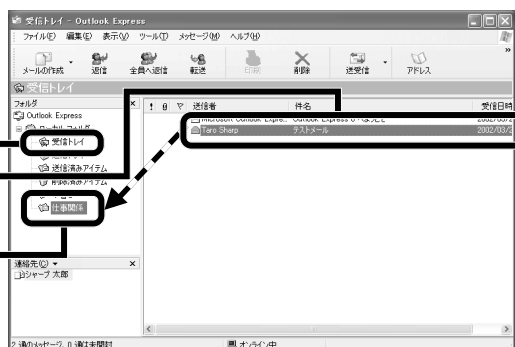
「受信トレイ」の電子メールを分類フォルダに移動する

読み終わって残しておきたい電子メールを、前ページで作成した分類フォルダに移動しましょう。

1 「受信トレイ」をクリックします。

2 移動する電子メールをクリックします。

3 「仕事関係」フォルダにドラッグします。

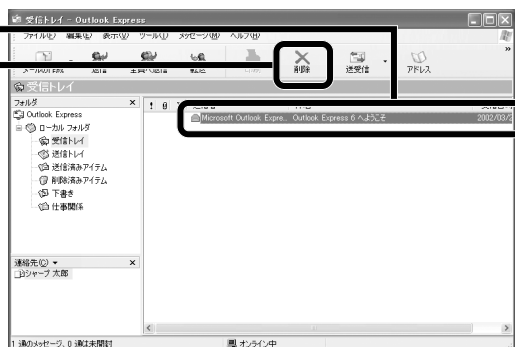
ドラッグした電子メールが「仕事関係」フォルダに移動されます。

いらない電子メールを削除する

読み終わって残す必要がない電子メールは削除しましょう。

1 削除したい電子メールをクリックします。

2 ［削除］をクリックします。

「削除済みアイテム」フォルダに移動されます。

すでに「削除済みアイテム」フォルダにある電子メールの場合は、確認のメッセージが表示されますので［はい］をクリックしてください。選択した電子メールが完全に削除されます。

「署名」（氏名・電子メールアドレス等の連絡先）を自動的に入れる

電子メールを送るとき、自動的に署名が本文に入力されるように設定することができます。

1 メニューバーの「ツール」をクリックし、「オプション」をクリックします。

「オプション」画面が表示されます。

2 「署名」タブをクリックします。

3 ［作成］をクリックします。

4 「すべての送信メッセージに署名を追加する」の □ をクリックして ☑ にします。

5 あなたの署名を入力します。

6 ［OK］をクリックします。

電子メールを送るとき、署名が自動的に入るように設定されます。

ファイルを添付して電子メールを送受信する

デジタルカメラで撮影した画像や、会社で使う資料などを、電子メールに添付して送受信することができます。

ファイルを添付して送信する

1 **「電子メールアドレスと文章を入力して送信する」**の手順**1～4**（☞**51**ページ）の操作をします。

2 》をクリックし、「添付」をクリックします。

「添付ファイルの挿入」画面が表示されます。

3 添付するファイルを選択します。

ここでは例として、デスクトップの「私のペット」ファイルを添付します。

4 ［添付］をクリックします。

添付されたファイルが表示されます。

5 **「電子メールアドレスと文章を入力して送信する」**（☞**51**ページ）の手順**5～6**の操作をします。

ファイルを添付して電子メールが送信されます。

受信した添付ファイルを見る

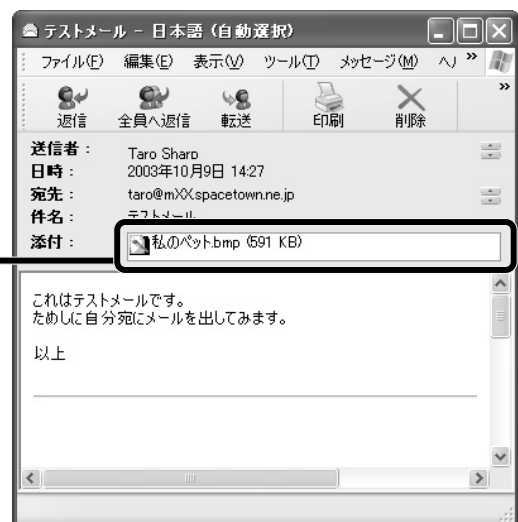
1 「受信トレイ」をクリックします。

ファイルが添付されていると が表示されます。

2 ファイルが添付されている電子メールをダブルクリックします。

届いた電子メールが表示されます。

3 「添付」欄のファイルをダブルクリックします。

添付ファイルが開きます。

添付ファイルを開くときは

添付ファイルには、コンピュータウイルスが含まれている可能性があります。
知らない人からの添付ファイルや不自然な名前の添付ファイルは開かないようにしてください。

Outlook Express の設定を変更する

Outlook Express で設定を変更しておくと便利な機能を紹介します。

自動的に回線を切断する

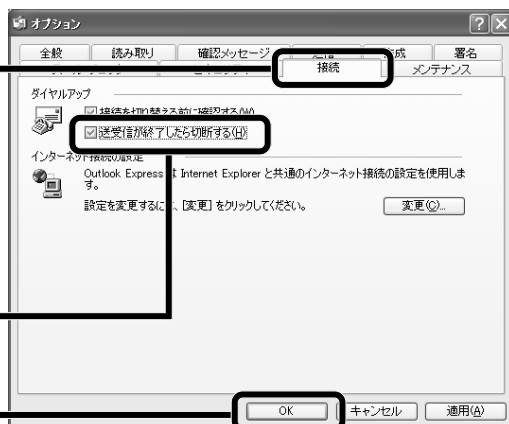
電子メールの送受信が終了したら自動的に回線を切断する機能があります。
ダイヤルアップ接続（一般電話回線、ISDNなど）を使用されている場合は、回線が自動的に切断されるように設定しておくと切断の忘れを防ぐことができ便利です。

1 メニューバーの「ツール」をクリックし「オプション」をクリックします。

「オプション」画面が表示されます。

2 「接続」タブをクリックします。

3 「送受信が終了したら切断する」の □ をクリックして ☑ にします。

4 [OK] をクリックします。

起動時に電子メールの送受信を実行しない

起動時に電子メールの送受信を実行する機能があります。
ダイヤルアップ接続（一般電話回線、ISDNなど）を使用されている場合に、この機能をオフにしておくと起動時にインターネットへの接続が要求されなくなります。

1 メニューバーの「ツール」をクリックし、「オプション」をクリックします。

「オプション」画面が表示されます。

2 「起動時にメッセージの送受信を実行する」の ☑ をクリックして □ にします。

3 [OK] をクリックします。

テキスト形式で電子メールを作成する

新しく作成する電子メールを、あらかじめテキスト形式にする機能があります。

1 メニューバーの「ツール」をクリックし「オプション」をクリックします。

「オプション」画面が表示されます。

2 「送信」タブをクリックします。

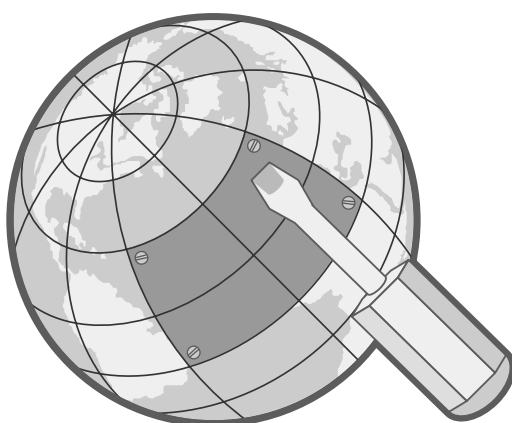
3 「テキスト形式」の ○ をクリックして ⊙ にします。

4 [OK] をクリックします。

新しく作成する電子メールがテキスト形式になるように設定されます。

電子メールをテキスト形式に変更する

作成途中のメッセージを HTML 形式からテキスト形式に変更することができます。
メニューバーの「書式」をクリックし、「テキスト形式」をクリックします。確認のメッセージが表示されたら [OK] をクリックしてください。

5章

設定しよう

インターネット接続の設定方法や電子メールソフトの設定方法について説明しています。

インターネット接続を設定しよう

オンラインでプロバイダーに入会していない場合や以前からプロバイダーに入会している場合は、インターネット接続の設定が必要です。ここでは、ダイヤルアップ接続の設定方法を説明します。ブロードバンド接続の設定方法は、NTT やプロバイダーから送られてくる説明書を参照してください。

使用する電話回線の情報を登録する

パソコンを設置する場所の電話回線の情報を登録しましょう。

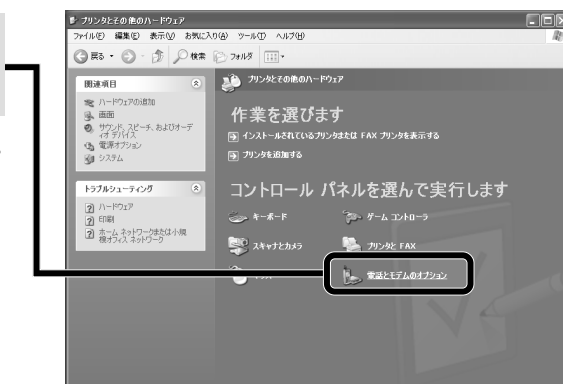
1 **[スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。**

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。
「プリンタとその他のハードウェア」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示してください。

3 **「電話とモデムのオプション」をクリックします。**

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

「所在地情報」をはじめて設定するときは

「所在地情報」画面が表示されます。
「国名/地域名」、「市外局番/エリアコード」、「ダイヤル方法」を入力してください。「ダイヤル方法」については、次ページを参照してください。
ここで入力した情報は、下記の「所在地の編集」画面に表示されます。

4 「所在地情報」をクリックします。

「新しい場所」と表示されていることもあります。

5 [編集]をクリックします。

「所在地の編集」画面が表示されます。

6 「所在地」、「国/地域」、「市外局番」、「ダイヤル方法」などを入力します。

所在地　：「会社」「自宅」など、わかりやすい名前を付けると便利です。

国 / 地域　：「日本」が選択されていることを確認します。

市外局番　：使用する場所の市外局番を半角で入力します。

ダイヤル情報　：会社などの電話回線で、「0」などの外線発信番号が必要なときに半角で入力します。外線発信番号に続けて「,」を入力しておくと、外線に切り替わる間、次の番号をダイヤルせずに待つことができます。「,」の数を増やすと待ち時間が長くなります。外線発信番号が必要な電話回線に接続するときは、モデムの設定も変更してください。詳しくは、**外線発信番号が必要な電話回線に接続するときは**（☞次ページ）を参照してください。また、**インターネット接続を設定する**の手順**22**（☞78ページ）で、ダイヤル情報を必ず使用する設定にしてください。

ダイヤル方法　：使用する電話回線に合わせて、「トーン」または「パルス」を選びます。お使いの電話機（親機）で、ダイヤル中に聞こえる音を確認してください。「パルス」に設定したときは、**インターネット接続を設定する**の手順 **22**（☞78 ページ）で、ダイヤル情報を必ず使用する設定にしてください。
トーン式：「ピッポッパ」と聞こえるとき
パルス式：「ジジジ」または「タタタ」と聞こえるとき
ダイヤル方法がわからない場合は、ご契約の電話会社（NTT東日本、NTT西日本など）にお問い合わせください。

7　[OK] をクリックします。

電話回線の情報が登録されます。

外線発信番号を入力した場合は、**外線発信番号が必要な電話回線に接続するときは**（☞次ページ）に進みます。

8　[OK] をクリックして「電話とモデムのオプション」画面を閉じます。

9　画面右上の ☒ をクリックして「プリンタとその他のハードウェア」画面を閉じます。

外線発信番号が必要な電話回線に接続するときは

「0」などの外線発信番号が必要な電話回線を利用するときは、「所在地の編集」画面（☞69ページ）で「外線発信番号」を入力した後、モデムの追加設定をします。

1 **「使用する電話回線の情報を登録する」の手順1～7（☞68ページ）の操作をします。**

2 「モデム」タブをクリックします。

3 モデム名をクリックします。

モデム名は、お使いのパソコンにより異なります。取扱説明書（別冊）の「電話回線に接続する」を参照してください。

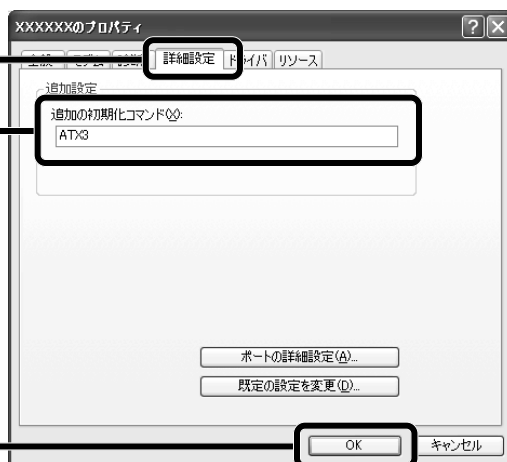
4 [プロパティ] をクリックします。

5 「詳細設定」タブをクリックします。

6 「追加設定」の「追加の初期化コマンド」欄に「ATX3」と入力します。

7 [OK] をクリックします。

8 [OK] をクリックして「電話とモデムのオプション」画面を閉じます。

9 画面右上の ✕ をクリックして「プリンタとその他のハードウェア」画面を閉じます。

上記の設定でもインターネットに接続できない場合は

外線直通の電話回線に接続してください。

複数の電話回線を使い分ける

複数の電話回線を利用するときは、それぞれの電話回線にあった情報を登録する必要があります。たとえば、会社ではトーン式、自宅ではパルス式の電話回線を使うときなどは、それぞれの情報を登録し、接続する前に切り替えて使用します。

使用する電話回線を追加する

1 [スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。
「プリンタとその他のハードウェア」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリ表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「電話とモデムのオプション」をクリックします。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 [新規] をクリックします。

「新しい所在地」画面が表示されます。

5 「所在地」、「国/地域」、「市外局番」、「ダイヤル方法」などを入力します。

詳しくは、**使用する電話回線の情報を登録する**の手順 **6** の説明（☞70 ページ）を参照してください。

6 [OK] をクリックします。

7 [OK] をクリックして「電話とモデムのオプション」画面を閉じます。

8 画面右上の ☒ をクリックして「プリンタとその他のハードウェア」画面を閉じます。

使用する電話回線を切り替える

1 ［スタート］をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。
「プリンタとその他のハードウェア」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリ表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「電話とモデムのオプション」をクリックします。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 「所在地」欄の利用する電話回線に合った「所在地」をクリックします。

選択した所在地が○から◎に変わります。

5 ［OK］をクリックして「電話とモデムのオプション」画面を閉じます。

6 画面右上の ☒ をクリックして「プリンタとその他のハードウェア」画面を閉じます。

インターネット接続を設定する

プロバイダーから送られてきた個人情報（ユーザー名やパスワードなど）の書かれた資料や説明書をご用意ください。また、**インターネット接続のためのチェックシート**（☞2ページ）を作成し、参照しながら設定すると、スムーズに作業が進められます。
ここでは、入会したプロバイダーがシャープスペースタウンの場合を例に説明しています。

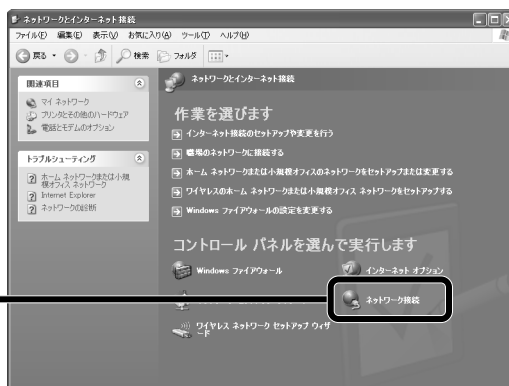
1 ［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

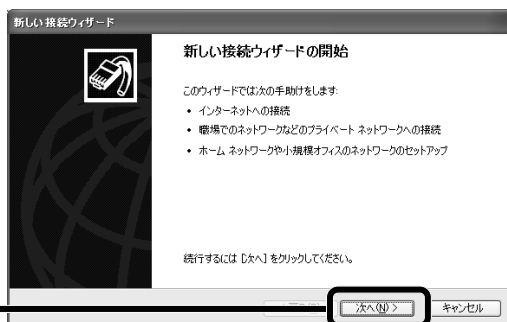
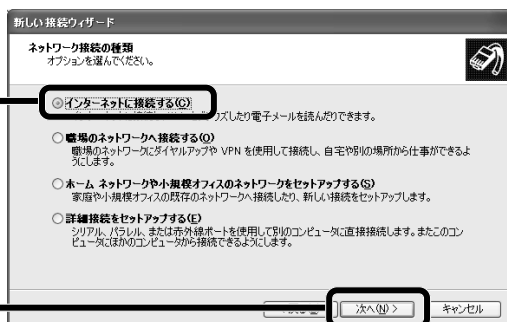
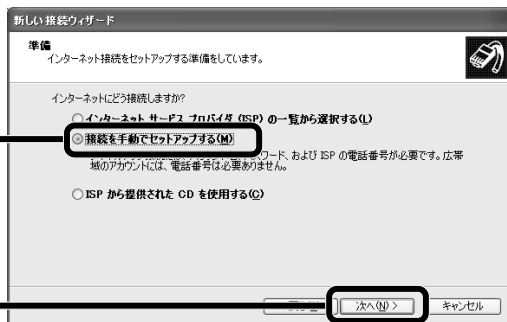
2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
「ネットワークとインターネット接続」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリ表示に切り替える」をクリックして表示させてください。

3 「ネットワーク接続」をクリックします。

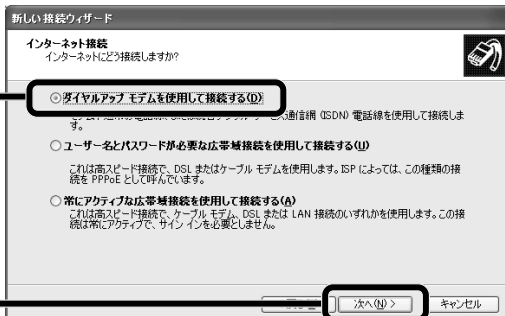
「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリックします。

「新しい接続ウィザード」画面が表示されます。

5 [次へ] をクリックします。

6 「インターネットに接続する」が選択されていることを確認します。

7 [次へ] をクリックします。

8 「接続を手動でセットアップする」をクリックします。

9 [次へ] をクリックします。

10 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」が選択されていることを確認します。

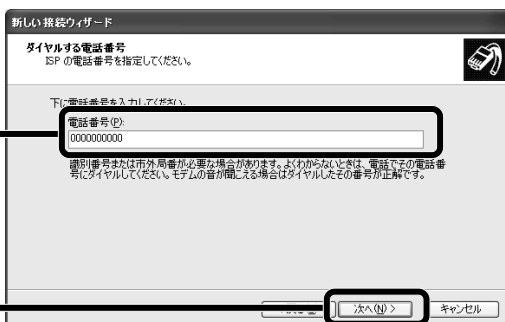
11 [次へ] をクリックします。

12 「ISP 名」欄に接続名を入力します。

インターネット接続の名前になります。プロバイダーの名称などにすると便利です。

13 [次へ] をクリックします。

14 「電話番号」欄に接続先の電話番号を半角で入力します。

インターネットに接続するアクセスポイントの電話番号を市外局番から入力します。

15 [次へ] をクリックします。

16 「ユーザー名」欄にユーザー名を半角で入力します。

プロバイダーにダイヤルアップ接続するときに使用するユーザー名です。

17 「パスワード」欄にパスワードを半角で入力します。

プロバイダーへ接続するときのパスワードです。パスワードは他の人に知られないように注意してください。入力したパスワードは＊（アスタリスク）で表示されます。

18 「パスワードの確認入力」欄にパスワードを半角で入力します。

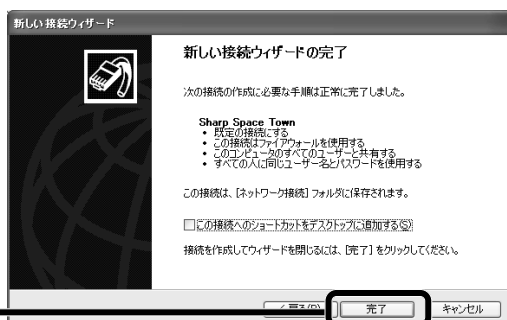
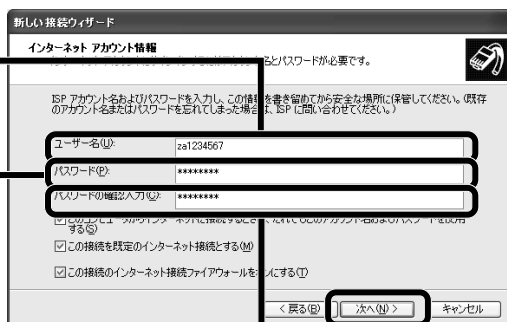
手順 **17** で入力したパスワードを再度入力します。

19 ［次へ］をクリックします。

20 ［完了］をクリックします。

設定した接続先の接続画面「XXXXX へ接続」が表示されます。

21 ［プロパティ］をクリックします。

接続先のプロパティ画面が表示されます。

22 「ダイヤル情報を使う」の □ をクリックして ☑ にします。

23 [OK] をクリックします。

接続画面に戻ります。

24 画面右上の ☒ をクリックして画面を閉じます。

「ネットワーク接続」画面に設定した「ダイアルアップ」アイコンが作成されます。

25 画面右上の ☒ をクリックして、「ネットワーク接続」画面を閉じます。

続いてInternet Explorerを起動したときに、「ダイヤルアップ接続」画面が表示されるように設定します。

26 [スタート] をクリックし、「インターネット」を右クリックして表示されるメニューから「インターネットのプロパティ」をクリックします。

「インターネットのプロパティ」画面が表示されます。

27 「接続」タブをクリックします。

28 「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」をクリックします。

29 [OK] をクリックします。

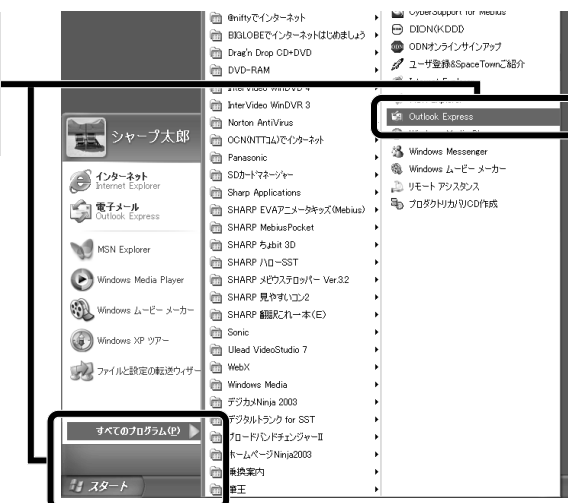
これでインターネット接続の設定は完了です。

電子メールソフトの設定をしよう

ここでは、Outlook Express を通常使用する電子メールソフトとして説明します。
プロバイダーから送られてきた個人情報（ユーザー名やパスワードなど）の書かれた資料や説明書をご用意ください。**インターネット接続のためのチェックシート**（☞2ページ）を作成し、参照しながら設定すると、スムーズに作業が進められます。また、プロバイダーへの入会手続きをオンラインで行うと、電子メールソフトの設定が自動的に行われている場合があります。
ダイヤルアップでのインターネットへの接続方法などについては、プロバイダーから送られてくる資料を参照してください。

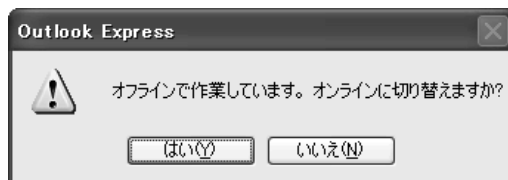
1 **［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「Outlook Express」をクリックします。**

はじめてOutlook Expressを起動した場合は、「インターネット接続ウィザード」画面が表示されます。

「インターネット接続ウィザード」画面が表示されない場合は、**「インターネット接続ウィザード」画面を表示するには**（☞82 ページ）を参照してください。

確認画面が表示されたときは

右の画面が表示されたときは、［はい］をクリックしてください。Outlook Express が通常使用する電子メールソフトに設定されます。

確認画面が表示されたときは

右の画面が表示されたときは、［いいえ］をクリックしてください。オフラインの状態で設定を進めます。

2 表示名を入力します。

電子メールを送ったときに、「差出人」欄に表示される名前です。自由に付けることができます。

3 [次へ] をクリックします。

4 電子メールアドレスを半角で入力します。

電子メールをやり取りするときのあなたの宛先です。あなた宛メールは、この電子メールアドレスに届けられます。

5 [次へ] をクリックします。

6 「受信メールサーバーの種類」欄をクリックし、プロバイダから指定された受信メールサーバーの種類を選択します。

7 受信メールサーバー名を半角で入力します。

8 送信メールサーバー名を半角で入力します。

手順 **7** で入力した受信メールサーバー名と同じ場合があります。

9 [次へ] をクリックします。

10 アカウント名を半角で入力します。

シャープスペースタウンの場合、電子メールアドレスが「taro@mXX.spacetown.ne.jp」だとすると、電子メールアドレスの@より前の部分の「taro」がアカウント名となりますが、プロバイダによって異なります。

11 パスワードを半角で入力します。

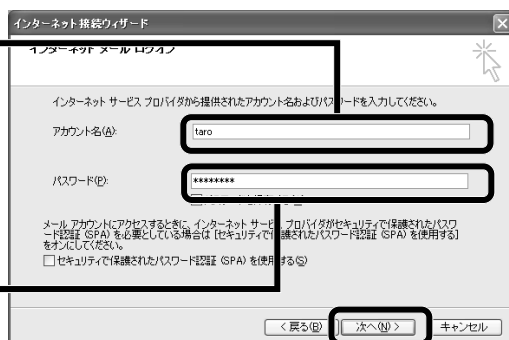
アカウント名に対するパスワードです。
パスワードは他の人に知られないように注意してください。入力したパスワードは＊（アスタリスク）で表示されます。

12 ［次へ］をクリックします。

13 ［完了］をクリックします。

14 画面右上の ☒ をクリックして Outlook Express を終了します。

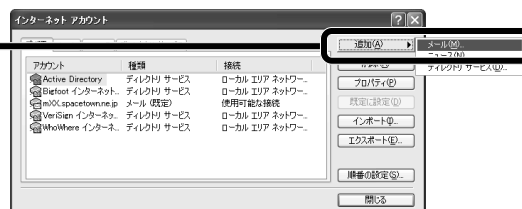
「インターネットアカウント」画面が表示されているときは、［閉じる］をクリックして「インターネットアカウント」画面を閉じてから、画面右上の ☒ をクリックしてOutlook Expressを終了してください。

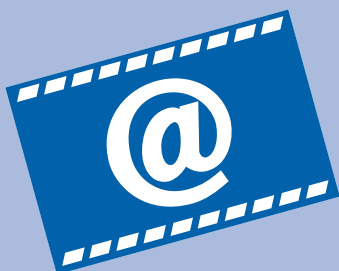
これで電子メールソフトの設定は完了です。

「インターネット接続ウィザード」画面を表示するには

1 Outlook Express起動画面のメニューバーの「ツール」をクリックし、「アカウント」をクリックします。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

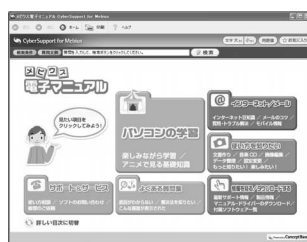
2 ［追加］をクリックして表示されるメニューから「メール」をクリックします。

「インターネット接続ウィザード」画面が表示されます。

入門ガイド

インターネット&メール

● メビウス電子マニュアル

パソコンの画面にも専用のマニュアルがあります。
冊子のマニュアルとあわせてご覧ください。

● メビウスホームページ

http://www.sharp.co.jp/mebius/

インターネットをご利用の方は、上記のホームページもご活用ください。「メビウスホームページ」では、商品情報やQ&A、周辺機器情報、ダウンロード情報など、役立つ情報を掲載しています。

● 製品についてのお問い合わせ、修理のご相談は・・

別冊の「お客様サポートシステムのご案内」をご覧ください。

シャープ株式会社

本　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地